

ドナウ の 四季

2019年 春季号 第42号

EU補助金で不正行為	盛田 常夫	1
過剰なソロス批判の愚		4
「超」手厚い家族政策	鷲尾 亜子	7
玉虫色の決着		9
漆に魅せられて (インタビュー)	バログ・ガブリエラ	11
ソルノク市と遊佐町の姉妹都市	ツツケイ・ジュジャンナ	12
日本人学校 作文	菊内 愛莉・本 ケアーン	19
みどりの丘日本語補習校 学習発表会	柳沢 佳名子	20
	坂井 香里奈	23
イベント・コンサート情報		24

Heat Therapy in Oncology—Oncothermia
New Paradigm in Hyperthermia
Andras Szasz and Tsuneco Morita

腫瘍温熱療法—オンコサーミア

ハイパーサーミアのパラダイム転換—医術から医学へ

サース・アンドラーシュ / 盛田常夫 [著]



日本評論社

温熱治療のパラダイムを転換する

温熱治療を根本から見直し、
あるべき手法を示した著書。

曖昧な日常知を科学によって解明した画期的な著作。

オンコサーミア治療器は世界25カ国で利用。
ドイツでは百か所以上のクリニックで、
韓国の主要な大学病院に設置。

好評発売中。定価3200円+税。
大手書店、Amazonにて購入可。

第4章 腫瘍温熱療法

- 4.1 腫瘍温熱治療の基本概念
- 4.2 ハイパーサーミアの手法
- 4.3 熱の作用と併用効果
 - (1) 熱と血流
 - (2) ハイパーサーミアの併用効果
- 4.4 ハイパーサーミアの熱生成
 - (1) アンテナ放射
 - (2) 磁場(コイル)
 - (3) 容量性カップリング
 - (4) 伝導加熱
- 4.5 ハイパーサーミア治療が抱える問題

第5章 オンコサーミアの理論と方法

- 5.1 電場の利用
- 5.2 細胞燃焼
- 5.3 腫瘍治療における細胞加熱
- 5.4 ミクロスコピック加熱
- 5.5 集束化の原理
- 5.6 温度の役割
- 5.7 安全性
- 5.8 積算量(ドーズ)
- 5.9 臨床事例

第6章 自然療法としてのオンコサーミア

- 6.1 ホメオスタシスの復位
- 6.2 細胞の自然死の促進
- 6.3 細胞転移の阻止
- 6.4 転移がん細胞に作用

第1章 ハイパーサーミアの歴史と評価

- 1.1 ハイパーサーミアとは何か
- 1.2 ハイパーサーミアの曖昧さと課題
- 1.3 ハイパーサーミアの歴史的概観
- 1.4 腫瘍治療のハイパーサーミア

第2章 ハイパーサーミアの物理学

- 2.1 電磁気学の基礎概念
 - (1) 電磁気現象
 - (2) 電場と磁場
 - (3) キャパシタ
 - (4) 位相シフト
 - (5) インピーダンス
 - (6) 電磁波
- 2.2 バイオ電磁気学
 - (1) 電磁波スペクトル
 - (2) バイオインピーダンス
- 2.3 「非熱」効果
 - (1) 非温度依存(NTD)効果
 - (2) 電磁場におけるNTD効果
 - (3) 電磁気による目標選択
 - (4) 電磁気と生体システム

第3章 ハイパーサーミアの生理学

- 3.1 生体におけるエネルギー、熱、温度
- 3.2 生体における温度制御
- 3.3 生体の加熱と体温
- 3.4 加熱による温度の分布
- 3.5 全身加熱と局所加熱の本質的な差異
- 3.6 加熱と冷却:リスクとその回避
- 3.7 温度測定と熱積算量(ドーズ)

EU 補助金事業での不正行為で補助金の返還を求められる

盛田 常夫

2018年1月12日、ハンガリーの反政府系メディアは一斉に、*The Wall Street Journal*がオルバン首相の女婿が関与している企業に不正があったという OLAF 報告の存在を報じた (EU Fraud Office Finds Irregularities in Projects Linked to Hungarian Leader's Son-in-Law, Updated Jan. 12, 2018 11:11 a.m. ET)。OLAF はハンガリーの野党 LMP からの告発を受け、ハンガリーで 2011 年から 2015 年にかけて実行された公道の照明灯設置事業 (EU 補助金対象事業) 中の入札案件 35 件を 2 年間にわたって調査し、2017 年 10 月にその報告書をハンガリー政府に送付し、ハンガリー国内での捜査と法的措置を求めた。

政府への勧告である OLAF 報告は公開文書でなく、公開・非公開は当該政府の判断による。地下鉄 4 号線にかんする OLAF 報告は、政権を奪取した FIDESZ が社会党政権時代の「悪行」を暴露するという意味で公開された。しかし、公道の照明装置設置事業にかんする OLAF 報告については、政府は非公開を決めた。なぜなら、オルバン首相の女婿 (長女の婿)、ティボルツ・イシュトヴァーン (Tiborcz István) が所有する企業 ELIOS の案件だからである。

EU 補助金対象となったこの事業は、地方都市の街灯をエネルギー節約的な LED に変える事業で、比較的に入札参入障壁が低い事業である。そこが目の付け所になった。この事業は専門的な知識や業務経験がなくても、入札に参入できる可能性があり、オルバン首相の女婿の実業家への転身を助け、金儲けさせる付度 (そんたく) 事業として最適だった。

体制転換から 20 年以上が経過し、市場経済への転換過程にあるハンガリーでは、補助金事業が一番手っ取り早い事業成功の道である。政治力のバックがあれば、「無から有を創る」ことができる。補助金のうけ皿になる会社を作り、そこに補助金が流入する仕組みができれば、自己資金なしで事業を始め、市場経済のプレイヤーになることができる。

第三次オルバン政権の首相府官房長官に抜擢された

のは、ホードメズーヴァーシャーレヘイ市長ラーザール・ヤーノシュである (ハンガリーでは地方自治体の首長が国会議員を兼ねたり閣僚を兼ねたりすることが容認されている)。彼はオルバン首相への付度と感謝を込めて、EU 補助金事業が始まる前の 2010 年、ティボルツの会社に事業経歴を与えるために、市の街灯を LED に変える事業を 7 億 2100 万 Ft で ELIOS 社と契約した。ただ、この事業の入札には照明分野で長い歴史と経験をもつ Tungslam-Schreder 社も参加したために、少し面倒なことになった。ホードメズーヴァーシャーレヘイ市は初期のシナリオ通りに、豊富な経験をもつ Tunslam-Schreders 社を排除し、素人同然の ELIOS 社を選定した。これにたいして、Tunslam-Schreders 社は選定結果に異議を唱え、政府の公的発注決定委員会に提訴したのである。首相の女婿の会社が受注し、官房長官が主導した案件である。決定が覆るはずもなく、裏での話し合いが進行し、Tungslam-Schreder が ELIOS の下請け事業者となることで問題がうやむやのまま処理された。典型的なハンガリー的妥協である。

こうして ELIOS 社は街灯照明工事の経歴を獲得し、翌年から入札が始まった地方都市の街灯照明事業に次々と参入し、実に 35 の市町村で EU 補助金付きの LED 転換事業を落札した。ところが、OLAF はそれぞれの入札について、不正やごまかしがあったと認定している。2010 年にゼロから始まった ELIOS 社の事業は、2016 年に全国 46 市町村の事業を引き受けるほどになった。これがまさに補助金から事業を興す典型的な方法である。

ELIOS が入札に参加するにあたって、ある付度が実行された。それは入札条件の変更である。政府の担当部局から、市町村の街灯照明転換の補助金詳細が公示されたのが 2012 年 12 月 12 日で、補助金申請の受付開始日が 2013 年 2 月 11 日とされ、受付順に補助金が支給されるとあった。ところが、受付開始日の 3 日前になって、突然、入札条件の一つの変更通知が、政府の担当部局から市町村へ通達された。LED 電球の耐久時間が 50,000 時間から 100,000 時間へ変更された。これは LED 電球の

納入額を増やすための条件変更だった。耐久時間が増えれば、電力節約額が大きくなるので、エネルギー節約（LED 照明投資額にたいするリターンの最大化）の名目にも叶う。

急な条件変更と LED 街灯の設置経験の必要性から、実際の入札参加者が限定された。しかし、入札者が ELIOS 社 1 社だけにことなるとまずいので、ダミーの入札者が作られた。たとえば、ヴァーツ市の入札では、ELIOS 社のほかに、SMHV Kft.、KVIKSZ Kft.、Polar-Studio Kft.も入札に参加していることになっているが、OLAF はこの 3 社の入札書類は 1 人の人間が、同じ PC を使って作成したと断定している。2 番手、3 番手の入札額が、ELIOS の入札額よりそれぞれ 5%と 7%だけ高くなるように作成された。受注した 35 件のうちバートンフレッド市の 1 件を除き、どの入札でもダミー会社はすべて 5%と 7%だけ高く設定した入札額になっていると指摘され、同じ PC を使ってダミー会社の入札書類が作成されたと断定している。あきらかに詐欺行為と不正入札が行われた。

さらに、LED 照明事業への補助金を申請した自治体側の顧問として Sistrade Kft.が入札公示の文書作成を行ったが、この会社の所有者であるハマル・エンドレはティボルツの同窓生で、ELIOS 社のパートナーとして所有権の一部を保有していた。また、Sistrade が入札公示に必要な投資リターン（収益率）の計算に使う EXCEL 表を作成したのは、ELIOS 社のマンツ・イヴェット（Mancz Ivett）だと記されている。マンツは ELIOS 社のこの事業の責任者である。OLAF が問題視するのは、このような詐欺行為や不正行為が公然と行われたことだ。

ヴァーツ市の入札公示文書の付録部分を作成したのもマンツで、カロツチャ市の最終監査を行った INS Kft. の実際の作成者は、やはりマンツと Sistrade のプシュカシュ・アンドラーシュだと記されている。

要するに、各自治体の入札文書作成から最後の監査文書作成まで、実際のところ、すべて ELIOS 社が行ったのである。利益相反を超えて、補助金詐取という犯罪行為である。OLAF は ELIOS 社が受注した事業は犯罪を構成するので、EU 補助金の全額の返還が必要だと提案している。その額は 4,370 万ユーロである。これは EU 委員会とハンガリー政府との間の協議に任される。

OLAF はハンガリー政府にたいして、ELIOS 社が受給した補助金取得に不正があったとして、ハンガリーの捜査当局の捜査を求めた。実は、2015 年に、ハンガリーの野党 LMP が ELIOS 社を告発したために、この件はいったん捜査されたことになっているが、不正の証拠を見つけられなかったとして、早々に捜査が終了していた。そうした経緯があって、LMP が OLAF に告発した案件である。

今回の OLAF の告発にもとづいて、再び捜査を開始したハンガリーの検察当局は、2018 年 11 月初め、再び「ELIOS 社の補助金受給に不正需給の証拠はなかった」という結論をだし、捜査の終了を宣言した。警察も検察も、最初からこの案件の捜査のやる気などまったくなかった。内務大臣も、警察庁長官も、検察庁長官も、皆、オルバン首相の個人的な支援を受けてポストに就いているので、最初から結果は分かりきっていた。

OLAF はこの結果を踏まえ、「EU 委員会に補助金返還の提案を行い、ハンガリーの検察庁には犯罪証拠を含めて、最終的な報告を送付した。EU 委員会は今後、この措置を議論することになる」と伝えている。

ELIOS は 2010 年から 2016 年の間に、EU 補助金事業で 143 億 8400Ft の売上げを記録したが、そのうちの 84%は EU から得られた補助金である。オルバン首相の女婿で、ELIOS 社の所有者であるティボルツ・イシュトヴァーンは、2015 年に ELIOS 社の所有権を売却し、身辺整理を図った。

お金と権力（社会的特権）は人を変えてしまう。右であろうと左であろうと、古い時代に育つていようと新しい時代に育つていようと関係ない。ハンガリー社会には権力を利用して獲得したお金は「汚い」という感覚はない。不正な入札を行って公的資金を得たことにたいして、呵責の念はない。不正入札、談合、贈収賄が社会的公正さを欠く犯罪要件を構成するという社会的規範はハンガリー社会では確立されていない。

公的補助金が経済的成功を収める重要な手段になっているハンガリーならではの事件であるが、2017 年暮れから、チェコ首相バビッチ（Andrej Babiš）の息子と娘の事件が大々的に報道され始めた。チェコの新型リゾートである Storks Nest Farm の建設で、EU 補助金 200 万ドルが不正に取得されたという容疑である。前妻との間

の息子と娘が Storks Nest の所有者であるにもかかわらず、親族が所有していることを隠蔽して補助金を詐取したという容疑である。OLAF は 2017 年 12 月 27 日に、チェコ政府にたいしてこの案件での報告書を送付した。OLAF 報告書はチェコの検察当局の捜査をベースに、それを裏付ける形で補助金不正取得を認定したようだ。

さらにそれから 1 年後の 2018 年 11 月。首相の息子 Andrej Babiš Junior が TV インタビューで、父の腐敗にかんする証言を行おうとしたところ、ロシアやウクライナに誘拐・幽閉されたと爆弾発言を行った。バビッチ首相は「息子は精神障害を患っている」と述べ、息子の言動を信じないようにと牽制したが、野党は不信任動議を出して首相を批判した。首相批判の街頭デモも行われた。

少なくとも検察や公共放送が事件を隠蔽しているハンガリーとは違い、チェコの場合には首相の家族の不正や腐敗は社会的批判に晒されている。しかし、体制転換先進国であるチェコやハンガリーで、転換 30 年を経ても、この種の権力を利用した不正行為が公然と行われていることは驚きである。チェコやハンガリーから東南に位置する諸国の状態が、チェコやハンガリーより良いはずがない。ブルガリアやルーマニアの不正・腐敗はより深刻だと言えるが、OLAF の調査が入るかどうかは、野党や反体制派の力にかかっている。与野党の対立が激しい諸国では、補助金の不正受給への監視力も高くなると考えられる。OLAF の調査と勧告はなによりも当該諸国からの訴えが出発点になるからである。

報道によれば、ハンガリー政府はこの ELIOS 社が絡む補助金事業について、EU からの補助金を申請しないことにしたという。これ以上、問題を長引かせることは、政権政党にとって得策でないという判断からである。結果的に、ハンガリーの税収が、首相の女婿の起業成功のために使われたことになる。

ソロスを批判し、意趣返しする FIDESZ 政権

ハンガリー出身でアメリカの投資家であるジョージ・ソロスは、難民・不法移民問題が顕在化する以前から、不法移民の支援を行ってきた。現在もなお、ソロス財団が支援する各種の民間団体が難民・移民の支援をおこなっているが、時として、密航支援を行っているのではないかとすら考えられる。もし密航支援を行っていたとすれば、明らかに不法入国幫助に当る。

ソロスの考えは明瞭であり、欧州の国境を撤廃し、人々が欧州内外から自由に移動できるようにすべきだと主張している。この信念にもとづいて、各種の難民・移民支援組織を金銭的に援助している。

ソロスは、「国境の存在は邪魔者であり、国境を撤廃して人々が欧州に入れるようにすべきだ」と主張して、ハンガリー政府が難民・移民を邪魔者にして、国境閉鎖したことを批判している。明らかに、ソロスは自らの哲学と資本の論理から、市場原理主義的にすべての国境を開放して、市場を開くべきだと考えているようだ。

大金持ちで、慈善事業家の顔をもつが、一介のアメリカ市民にすぎないソロスが、アメリカで難民・移民の受け入れを主張するのではなく、欧州に向いて国境撤廃・移民促進を主張するのはなぜか。しかも、欧州首脳はかなり頻繁にソロスと意見交換を行っている。ソロスが EU 本部に出かけたり、各国首脳との私的な会談を行ったりしている。欧州左派の無政府主義的理想主義とソロスの市場原理主義にもとづく無政府主義が、目標を同じくするというのだろうか。

これにたいして、ハンガリー政府はソロスが EU の難民・移民政策に多大な影響を与えている黒幕だと、国内で激しい反ソロスキャンペーンを繰り広げている。もっとも、2018 年 6 月の EU サミット決議のように、ソロスの考えとは正反対の結論が出されているから、ソロスが EU の難民・移民政策を決めているというハンガリー政府の主張は妥当性を欠く。一介のアメリカ市民に過ぎない人物を、あたかもハンガリー国の政敵のように扱うのは、一個人を国家レベルにまで引き上げる無用な政治宣

伝である。もしそのような懸念があるのなら、欧州委員会の場で、オルバン首相が質せばよいことである。対外的な場で正面から問題を提起することなしに、ハンガリー政府が国内向けに、反ソロスキャンペーンを展開するのは異常な政治行動で、明らかに難民・移民問題を利用した政権政党への支持を公費で強制する政治的キャンペーンだとみなされても仕方がないだろう。

反ソロスキャンペーン

2018 年、反ソロスキャンペーンの一環として、「ソロス計画にたいする国民コンサルテーション」と称して、すべての有権者に 7 項目の質問への賛否を求める質問票を送付した。国際投資家で慈善事業家でもあるソロスが過去 2 年余の間に、書籍や新聞などのメディアを通して発言してきたことをまとめて、それを「ソロスの 7 つの計画」と称して列挙したものである。そこにはすでにソロスが取り下げた主張や、不正確な情報や誤った情報が含まれており、国内向けの政治的キャンペーンに過ぎないものだった。ハンガリー政府が「ソロス計画」と称したものは、以下の通りである。

- 計画 1. 「ソロスは 100 万人の移民を欧州に入れるようにブリュッセルを説得している」
- 計画 2. 「ソロスはブリュッセル指導者とともに国境鉄条網を切断しようとしている」
- 計画 3. 「ブリュッセルの移民強制割当はソロス計画の一環である」
- 計画 4. 「ブリュッセルはソロス計画にもとづいて、移民 1 人につき 900 万 Ft の援助を強制しようとしている」
- 計画 5. 「ソロスは移民の犯罪刑罰を軽減するように求めている」
- 計画 6. 「ソロス計画の目的は、移民を促進するために、欧州諸国の言語や文化を蔑ろにするところにある」
- 計画 7. 「ソロスは移民に反対する諸国への政治的攻撃を強め、厳しい罰則を求めている」



「ソロス計画に声を上げよう、国民コンサルテーション」

長期にわたる政府の宣伝や政権政党の政治運動もあって、質問票へ回答（ソロス計画に反対）は200万通を超え、政府は大成功と自賛したが、ハンガリー政府から欧州委員として派遣されているナヴラチッチ・ティボール（教育・文化・青年・スポーツ担当委員）は、「政府が2015年のソロスの言動にもとづいて一つ二つの質問を作成したのは理解できるが、欧州委員会にソロス計画なるものは存在しないし、作業部会でもそのようなものは存在しない」と語った。また、自由選挙後のアンタル内閣時（1990-1994年）に外務大臣を務め、第一次オルバン内閣でアメリカ大使（1998-2002年）を務めたヤセンスキー（Jeszenszky Géza）は、「このような質問票は国民を見下した政治的キャンペーン」と批判した。

この政治的キャンペーンは、ハンガリーFIDESZ政権がソロスを「ハンガリー国家の敵＝悪魔」に仕立てることによって、国内の支持基盤を固めようとする戦術である。一種の陰謀史観にもとづく政治的戦術である。

2015年秋以降、ハンガリー政府は一貫してソロス批判を行っており、このキャンペーンに先立つ前年の2017年には、ハンガリー政府はソロス財団が資金提供していると考えられる難民・移民支援団体への管理強化策を打ち出した。

2017年6月27日から施行された「国外の支援を受けた団体の透明性に関する法律」で、政府は外国から支援を受けているNGOの監視に踏み出した。この法律が適用される団体は、年間720万Ft（およそ300万円）以上の援助を国外から受けている団体・組織で、これらの組織・団体は管轄庁に登録し、かつ年間50万Ft（およそ20万円）の寄付をする団体・個人について、その名称（氏名）・所在地等を報告しなければならない。これを怠った者は罰則を受ける。この種の法律はEU内でハンガリー

が初めて採択したもので、ソロスに繋がる財団や組織の締め付けを狙ったものである。

2017年のNGO締め付け法に続き、ハンガリー政府は「Stop Soros」と通称した「移民特別税」（2018年8月25日施行）を導入し、難民・移民に手を差し伸べるNGO団体に特別課税する法律を制定した。この法律の対象となるのは、移民を促進する活動を行っている組織で、移民教育組織、移民支援ネットワーク、移民促進のプロパガンダの活動を行っている組織*である。これらの組織は物的な支援を受けた月の15日までに、税務当局に資金を提供した組織名・所在地、援助額を報告し、援助額の25%を「特別税」として支払わなければならない。この法律にもとづく最初の申告期日は2018年9月17日である。これを怠った者は追徴や制裁を受ける。

CEU 廃校工作

ハンガリー政府のソロスへの意趣返しは、止まるところを知らない。ハンガリー政府は2017年4月に高等教育法を改正して、ソロス資金によって設立された大学院大学CEU（Central European University）を潰しにかかった。オルバン首相は政権批判に敏感で、政敵を潰すことに全力を注ぐことで知られている。

しかし、いかにソロスが出資したとはいえ、実際の大学教育がソロスのイデオロギーにもとづいて行われているわけではない。しかも、CEUの教育・研究は国際的に高く評価されており、欧州の大学ランキングも高い。政治家オルバンはイデオロギーで組織や個人を単純に評価する傾向があり、学問や研究の自由より自らのイデオロギーを優先する。「ソロスが設立した大学では難民・移民を歓迎する教育が行われており、ハンガリーの国益にとって有害だ」という単純な政治的キャンペーンで、一つの大学を潰そうとしている。

CEUはアメリカにキャンパスをもたず、ニューヨーク州の教育ライセンスにもとづいてハンガリーに設立された大学院大学である。オルバン首相の指示にもとづき、ハンガリーの当局者は、ここにCEU設立の弱点があると高等教育法を改正した。その要点は、「ハンガリーで認可される外国の大学は、本国にキャンパスを保有していること」を条件にすることで、これを満たさないCEUを廃校に追い込もうとしたのである。

これにたいして、CEUはニューヨーク州にキャンパスを開き、高等教育機関の条件を充足して廃校を避けようとした。ニューヨーク州もまたハンガリー政府との協定締結へ動き、2018年4月にハンガリー人材省(教育省)次官2名がニューヨークキャンパスを訪れ、ニューヨーク州とハンガリー政府との間で協定案(ハンガリー側の署名者は外務大臣)が作成された(その後、外務大臣は協定案の存在を否定)。しかし、簡単に首を縦に振らないオルバン首相の意向を受けて、担当大臣が協定書に署名しないまま時間が過ぎ、痺れを切らしたCEUは、アメリカの学位を授与する教育プログラムのウィーンへの移転を決定したのである(2018年12月)。

EU批判の一線を越えた FIDESZ

2019年に入り、欧州議会選挙を控えたハンガリー FIDESZ 政権は、ユンケル欧州委員会委員長を公然と批判する政治キャンペーンを始めた。ハンガリー全土に、ジョージ・ソロスとユンケル委員長の顔写真を並べた巨大なポスターを貼り巡らし、各家庭にはそのリーフレット版を郵送するという念の入れようである。ユンケル委員長はソロスと共謀して、難民の強制割当を実行しようとしており、「その企みを知る必要がある」というEU批判である。



ソロス=ユンケル陰謀批判ポスター

「ブリュッセルの企みを、国民は知る権利がある」

各家庭に郵送されたリーフレットには、7点の「企み」が記されている。ソロスとユンケルは、① 強制割当を導入しようとしている、② 加盟国の国境管理の権限を弱めようとしている、③ 移民ビザを発行させて移民の流入を簡便化させようとしている、④ 移民を支援する組織にさらに資金を提供しようとしている、⑤ 900万 Ft

分の銀行カードを渡して移民の定着を助けようとしている。⑥ アフリカ諸国からの実験的移民プロジェクトを始めようとしている、⑦ 移民を監視する諸国への資金的援助を減らそうとしている。

ユンケル委員長は FIDESZ も属する欧州議会の人民党グループから選出された政治家である。この新たな反EUキャンペーンにたいし、欧州人民党グループに所属する各国の諸政党9党が、FIDESZ を批判し、会派からの除名を要求した。これにたいし、欧州人民党の議員団長マンフレッド・ウェーバーは、FIDESZ にたいして、欧州人民党グループ残留の条件として、以下の三つの条件を提示した。

一つは、ブリュッセル(EU)にたいする政治的非難キャンペーンを止めること。

二つは、人民党グループを構成する兄弟政党とユンケル氏へ謝罪すること。

三つは、CEUをブダペストに残すこと。

これらの要求にたいして、FIDESZ 政権幹部は譲歩する姿勢を示していない。ウェーバー議員団長は急遽、3月12日にブダペストを訪問し、オルバン首相と会談した。この会談に先立ち、ウェーバー氏はCEUへ直行し、大学幹部と話し合いをもった。学問・研究の自由の観点から、人民党グループにとってCEU問題は看過できないという理由からである。ウェーバー氏は上記の三要求をオルバン首相に迫ったが、明確な回答は得られなかったようだ。

その後、3月20日に開かれた欧州人民党グループの会議で FIDESZ の資格停止提案が、190対3の圧倒的多数で可決された。即時除名でなく、資格停止で欧州人民党指導部と FIDESZ との間で妥協が成立した。欧州人民党は3名の賢人会議を立ち上げ、FIDESZ 問題に対処することになった。欧州人民党指導部はグループ内で14議席を保有している FIDESZ を簡単に切り捨てるわけにはいかず、他方で会派除名によってポピュリストの小会派へ移ることが余儀なくされることは FIDESZ の本意ではない。というのも、FIDESZ 執行部はポピュリスト政党と呼ばれることを極端に嫌っているからである。両者の政治的駆け引きは欧州議会選後まで続く見通しである。

時事解説 (2019年2月)

「超」手厚い家族政策 一産めよ働けよ

鷺尾 亜子

「大盤振る舞い」という言葉が、まさに相応しかった。オルバーン首相が2月10日に発表した、7項目から成る新家族政策である。例として、3年以内ごとに3人出産すれば事実上1000万Ft（1フォリン=約0.4円）トを得られる、祖父母への育児手当などが含まれる。それもこれも、人口減少に楔を打つため。今月は新政策について。

7項目の措置

早速、発表された各項目を見ていこう。

(1) 9年で3人産めば1000万Ft?

最初の措置は、女性が結婚する際、国から最大1000万Ftの融資を受けられるというもの。

「融資」ではあるが、返済は「無利子」。そして、出産ごとに返済が猶予され、元金も棒引きされていく。

- ・第1子出産 ⇒ 返済を3年間猶予。
- ・第2子出産 ⇒ さらに3年間、返済を猶予、および元金3分の1を棒引き。
- ・第3子出産 ⇒ ローン残高をすべて返済免除。

つまり、理論上は、本年7月1日の施行直後から、3年以内ごとに3人産めば、1000万Ft借りても返さなくてよいことになる。

ハンガリーの平均給与は、税込みで月約32.7万Ft、税引き後で約21.7万Ft（2018年1-11月、中央統計局）のため、平均年収の2.5倍以上にも相当する額になる。

借入金の使途の縛りはないので、何に使ってもよい。既婚者でも借り入れで可能だが、その場合は、7月1日以降に出生した子どもから対象になる。

借り入れの要件で重要なのは、最低3年間は正規で就労していること（医療社会保険料を納付していること）、また、5年以内に出産しなければ、「利子付き」で返済しなければならなくなる。

(2) 住宅購入支援プログラム (CSOK) の拡張

CSOKは、2016年1月から開始したマイホーム購入支援プログラムで、今回はそれを拡張することになる。

CSOKにはいくつかの支援の形式があり、扶養対象の子どもの数が多いほど、手厚くなっている。近年の住宅建設ブームは、このCSOKにかなり支えられている。

政府は昨秋、住宅購入・建設に対する低利融資の上限を、子ども2人の場合は1000万Ft、3人の場合は1500万Ftまで引き上げ。今回の発表では、新築のみに限らず、中古住宅の購入も融

資対象に含めることになった。また、購入住宅の上限3500万Ftを撤廃した。

(3) 出産ごとに、国が住宅ローン返済肩代わり

これも、既存の制度を拡充するもの。子どもの数に応じて、住宅ローン残高の一部を国が肩代わりして返済する。肩代わり規模は、以下のようになる。

- ・第2子出産後には100万Ft
 - ・第3子出産で400万Ft
 - ・第4子以降は1人につき追加で100万Ft
- （現行制度では3人出産で100万Ft肩代わり、それ以降1人に付き100万Ftずつ）

(4) 4人産めば一生、個人所得税なし

4人以上出産した女性には、生涯、個人所得税を免除する。（養子も対象）この措置は、既に4人の子どもを出産している女性にも適用になる。2020年1月1日から。

現在の個人所得税率は一律15%。平均年収（約400万Ft）を得ている女性ならば、年に60万Ftも浮く勘定になる。ただ、4人出産した後もずっと働かない限りは（もしくは何らかの所得がないかぎり）、この恩恵を得ることはできない。

(5) 7人乗り車購入には250万Ft補助金

子ども3人以上の家族が、7人乗り乗用車を購入する場合、250万Ftの補助金を支給する（返済不要）。

人材省（家族政策所管）によると、市民が4人目の出産を躊躇するのは、「移動が大変」というのが理由の一つ。そうした阻害要因を取り除くのが目的。2019年7月1日から施行になる。

(6) すべての子に保育園を

ハンガリーでは、3歳以上のすべての幼児が幼稚園(Óvoda)に行かれるようになってきている。一方、0~3歳児向けの保育園(Bölcsőde)では、2.1万人分の受け皿が不足。そのため、2019年から段階的に新規で建設、既存保育園の拡張などをして、2022年にはすべての乳幼児を受け入れられるようにする。（現在の施設は計4.9万人分）

(7) 祖父母にも手当

両親が仕事に行っている間、おばあちゃん・おじいちゃんが孫の面倒を見る場合、育児手当“Gyed”を支給する。

Gyedは出産後に母親もしくは父親に給付される「育児手当」で、条件は過去2年で365日以上、正規就労し医療社会保険

料等を納付していること。支給額は出産前の給与の70%。ただし、上限は最低賃金 x 2 x 70%になっている。(2019年は具体的には208,600 Ft/月) 給付期間は、子どもが2歳になるまで。

「おばあちゃん Gyed」は、2020年から開始見込みだが、詳細はまだ不明である。

人口減少はどれくらい深刻なのか

ハンガリーでは、これまでも各種の手厚い家族優遇政策があった。しかし今回、これほど大胆な政策を打ち上げたのは、他でもない、人口減少に止まる気配がないため。

人口は、1980年代の1070万人をピークに、毎年3~4万人減少。2018年年初時点では977万人まで低下した。欧州統計局(Eurostat)は、このまま進めば、2080年には869万人まで減少すると予測している。(予想は2016年夏発表、2015年までのデータを元にして)

一方、2017年の婚姻数は50,572組、出生数は91,577人、合計特殊出生率は1.49人だった。

ハンガリーの現政権は、移民は断固拒否の方針を貫いており、人口問題はあくまでもハンガリー人の出生数引き上げで解決する所存だ。2030年までには(つまりあと10年で)、合計特殊出生率を2.1人までに増加させるという野心的な目標を掲げている。

国内のメディア Index.hu の試算によると、今回の措置と既存の措置を最大限に利用した場合、10年で実質、5500万 Ft も得をすることになる。

もっとも、これは、大卒の女性が3年就労後、結婚して、8年で4人出産した場合。あくまでも一つの「モデルケース」だ。人生それほど単純ではないし、計画通りにも行かない。育児は大変だしお金もかかる。

もう一つ特筆しておくべきことは、今回の措置はこれまで同様、基本的には住宅や車など大きなものを買ってこそ恩恵を受けられるようになってきている点。また、これまで正規で働き、また出産後も生涯働いてこそ最大の恩恵を受ける。

こうしたことから、今回の措置が出産の追い風になることは間違いないだろうが、「どれくらい」となると見通しづらい。

一方で、家族政策で多くの人が支援を受ければ、それだけ国への負担は重くなる。国内銀行最大手 OTP Bank 調査部の試算では、これらの措置の結果、財政赤字は年間2000~3000億 Ft 増加し、対 GDP 比で0.5ポイント上昇する。(ただし、詳細条件や、実際の支援を受け取る人の人数による)

野党らは、これは19年5月に欧州議会選挙を控える中、今までのように「移民の脅威を煽り立てる」戦略が通用しないため、与党はバラマキ政治に出たと批判している。もっとも人口減少問題については、野党らも、有権者の心をつかむほどの案は打ち出せていない状態ではあるのだが。

ツイッター：https://twitter.com/ako_washio
ウェブサイト：<http://hungarybusinessnews.net/>



起きたことは一つしかないが、立場によって解釈やその後の主張が異なってくるのは、人の世の常である。オルバーン首相が率いる与党が、欧州議会に所属する会派 EPP で資格停止となったことも例に漏れず。「異なる」どころか、「真逆」である。欧州議会は5月下旬に選挙を行う。今月は、そのような中で資格停止となったことに関して、それぞれの言い分や今後に残した禍根について紹介する。

堪忍袋の緒が切れる

EPP (欧州人民党グループ) は、欧州議会の最大会派。中道右派で、イデオロギー的にはキリスト教民主主義、保守主義、自由保守主義と通常は分類されている。その EPP が20日、ハンガリーの与党 Fidesz (フィデス・ハンガリー市民同盟) の資格を停止にすると決めた。賛成190票、反対3票。資格停止になると、EPP の会合に出席したり、意思決定事項に投票したりすることができなくなる。また、EPP 内の役職へ候補者を挙げることも不可。普通に考えれば「処分」である。

処分の直接的な引き金となったのは、ハンガリー政府が2月下旬に開始した「反ブリュッセルキャンペーン」。街中や国道沿いの至る所に巨大ポスターが設置されたので、否が応でも気づいた方も多いただろう。ユンケル欧州委員長、後ろには米投機家ソロス氏の大きな顔写真が並び、「あなたには知る権利があります、ブリュッセルが何を企んでいるか」と書かれてあった。その下には、いかに欧州委員会が大量の移民を受け入れようとしているか説明。ソロス氏は、“欧州への大量移民の流入を企てる張本人”として、オルバーン政権が敵に仕立て上げてきた人物である。ポスターはユンケル氏の後ろでソロス氏が操っているかのような印象を与えた。政府は国内の約800万の全有権者にも同じ内容のものを郵送した。

露骨なネガティブキャンペーンに対し、欧州委は直ちに全面否定の声明を発表。その後、「ハンガリー人は作り話ではなく事実を知る権利がある」とし、在ハンガリー EU 代表部は公式ウェブサイトでもハンガリー語でも反駁文書をリリースした。一方、EPP 内では、Fidesz は除名

すべきという声の一部が上がった(ユンケル氏は EPP に所属している)。

こうした動きに対して、オルバーン首相は、「役に立つ馬鹿 (useful idiot)」と一蹴した。欧州議会選挙前の EPP 内の揉め事は、欧州議会のライバル会派らの得になる、という意味だった。これにより、反発は収まるどころかさらに増幅。

最終的には10か国、13の小政党が正式に Fidesz の除名を要求した。ただし、巨大ポスターや「馬鹿」発言自体は、「引き金」でしかなかった。背景には、ここ数年のハンガリー政権の全般的な民主制の後退への懸念があり、EU で制裁手続き開始が発動されても軌道修正されないことへの不満が溜まっていたことが挙げられる。何より、議会選挙を2か月後に控え、“オルバーンのようなポピュリズム勢力を容認したままの EPP”と国内で批判されるのは得策ではなかった。

EPP の規定では、5か国、7政党以上がメンバー政党の除名、または資格停止を要求した場合、EPP は協議しなければならないことになっている。結局、EPP は、指導部の提案で、無期限で資格停止とすること、加えて3人の賢人から成る委員会を発足し、ハンガリーの法支配状況や教育の自由などを評価し報告することを決定した。この報告書が Fidesz の今後の復帰もしくは拒絶の判断材料にされるが、取りまとめ期限は明記されなかった。

オルバーンの論理

オルバーン首相側は、排除されたわけでもないし、「資格停止」されたわけでもないと主張。賢人委員会の評価報告書が取りまとめられるまで、「自ら一方的に」メンバー政党としての権利行使の停止を提案したと強調した。実際、今回の措置には、Fidesz も賛成票を投じている。

オルバーン氏は今回の一連の動きについて、問題の本質はハンガリーの巨大看板や法支配ではなく、極めて政治的なものと主張している。EPP 内には、「左リベラル寄り」から Fidesz のようなキリスト民主主義を体現する右寄り政党まであり、今回は左リベラル寄りが EPP の舵をそちらに取ろうとした試みだったと解説。

こうした左寄り政党らは、イコール「移民受け入れ積極派」であり、結局のところ今回の対立も、移民を受け入れるか、拒否するかの問題に集約されるとした。

しかし、Fidesz が自ら権利行使を停止することで良い妥協が生まれたと述べた。そして、EPP が移民積極派に傾く動きは封じ込めることができ、かつ EPP 内の結束維持に Fidesz は貢献できたと自画自賛した。つまり、Fidesz が今回の勝利者と位置付けたのだった。まさに「処分」とは真逆の解釈だった。

一方で、Fidesz は今後も、反移民政策やキリスト教文化を守ることに一切の変更はないとする。そして、EPP が移民積極派にならない限り残る方針を明確にすると同時に、EPP からの欧州委員長候補のウェーバー氏については引き続き支持すると表明している。

なお、オルバーン氏は、巨大ポスターについては、「政府が国民へ告知するための広報キャンペーン」であり、反ユンケルキャンペーンではないと EPP 会合後の記者会見で否定した。加えて、欧州議会選挙前の Fidesz のキャンペーンでもないと言い切った。そのため、記者会見場では、失笑が漏れる一幕もあった。

こうした解釈を堂々と前面に押し出したのは、オルバーン首相がなんとか今回の措置に自ら合意済みである証拠を、最後の最後で決議案に押し込むことができたためである。採択文書は、「EPP が Fidesz を資格停止にする」ではなく、「EPP と Fidesz は評価委員会の報告書がまとまるまで、資格停止をすることでともに合意した」となった。

玉虫色の決着

Fidesz への対応について、EPP 内には、大別して3つの勢力があった。まず除名を求める強硬派（ベネルックスや北欧中心の小政党ら）と、逆に Fidesz 連帯派（イタリア・フォルツァや中東欧の政党ら）。最後に Fidesz の問題の存在を理解しながらも、今ここで排除カードを切ることは躊躇するグループ。実際はこの3番目の勢力

こそが、ドイツ与党 CDU（キリスト教民主同盟）など EPP 中核メンバーを含み、会派内での影響力が最も大きい。EPP 会派代表であるウェーバー氏もこれに属す。

この3番目のグループが資格停止に動き、妥協形成が図られた。その結果、どの勢力もある程度満足でき、メンツを国内外で保つことのできる案で一致した。

強硬派らは、これにより EPP の多数が Fidesz の問題を認めたこと、また今後、除名につながる一步になると概ね評価を示した。一方、EPP 会派代表のウェーバー氏は、Fidesz の野放図な振る舞いは認めないという姿勢を示すことができた。同時に、選挙前の EPP 分裂を防ぎ、選挙後も最大会派としての勢力を維持できる可能性を守った。つまり、10月の自身の欧州委員長への選出を確実にするための手立ても残したのである。

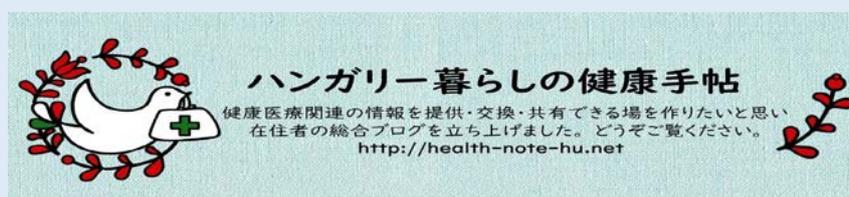
オルバーン首相も、追い出されるのではなく「決定権は自分たちにある」というメッセージを国内向けに示すことができた。オルバーンにとっても、今、EPP を飛び出すよりは、選挙結果を見てから、EPP に残るのか、それともポーランドやイタリアのポピュリズム勢力と言われる政党と組む方が良いのか判断した方が良い。結局のところ、誰しも選挙前にカードは切りたくなかったのである。一方で、EPP 外からは、当然のことながらこれは「良い妥協案」などではなく、法支配などの問題をうやむやにして解決を先送りしただけと批判された。

反オルバーンで知られるフェルホフスタット欧州議員（ベルギー元首相、欧州議会内では欧州自由民主同盟の会派代表）は、「政治的なトリック」で、「欧州の恥」とコメント。そして、「EPP は、欧州全体の利益よりも議席獲得を常に優先させている」とした。

玉虫色の決着となったため、Fidesz 資格解除を巡り、EPP が再び揺れるのはほぼ確実だ。「賢人会議」が報告書をまとめるのは欧州議会選挙の後と言われる。それとも、Fidesz 自身が選挙後に EPP を出る決断をするか。すべては選挙結果次第である。

ツイッター：https://twitter.com/ako_washio

ウェブサイト：<http://hungarybusinessnews.net/>



ハンガリーを代表する赤ワインワイナリー

GEREワイナリーが日本人のワイン愛好家の皆様に、通販サイトを開設しました。

www.gere-club-japan.com

GERE

GERE ATTILA PINCÉSZETE



KOPAR 2012は皆様のご愛顧のお陰で、在庫切れとなり、販売を終了しました。今後は、**KOPAR 2015**をよろしくご愛顧ください。

最高級赤ワインのセットを、ご自宅に配送します。
日本へは国際宅急便(6本の配送費90ユーロ)で、
ハンガリー国内は20ユーロ以上の注文で送料が無料になります。



各種ワインセットの他に、低温圧搾ぶどう最高級オイル、
ぶどうの種と果皮をミクロンのサイズに粉碎した、
ポリフェノミクロンも、通販サイトを通して購入できます。



GERE-CLUB-JAPANの会員になれば、
各種の特典が得られます。GERE ホテルの予約も、
通販サイトを通せば、日本語で予約ができます。

www.gere-club-japan.com

リポーター 桑名一恵

インタビュー：漆に魅せられて

バログ・ガブリエラ（漆職人）



1. 自己紹介をお願いします。

ブダペスト生まれです。学生時代もほぼブダペストの学校に通いました。子供の頃は、バレエや楽器、歌をやってみたものの、結局いつも一番好きだったのは絵を描くことでした。12歳で定期的に珪瑯づくりを始めたのですが、光沢と滑らかさに惹かれる一方で、触り心地の冷たさが馴染めませんでした。そんなこともあり、後に芸術高等学校では皮革科を志望しました。皮の触り心地は柔らかく、しなやかに立体形成することができるからです。その後、大学ではファッションデザイナー学科へ進み、皮革専門の工芸美術家として修士課程を修了しました。卒業後は、続けて皮以外の天然素材についても研究をしました。

2. 日本の漆塗りに携わるようになったのは、いつからですか？何故ですか？どこからそのアイデアが浮かんだのですか？

1993年に家族と一緒に旅行で東京に長期滞在する機会がありました。日本へ出発する前、民族博物館のトルマ・ラーズロー氏のもとを訪れました。その時、氏が日本のエイ革の箱を見せて下さいました。吟スリ加工された粒状の角質の突起に緑がかかった半透明の塗りが施されていて、角質の模様の美しさを際立たせていました。表面の光沢にもかかわらず、触り心地に温かみがあるところも気に入りました。それで、日本へ行ったら“漆 urushi”もしくは“漆器 shikki”という名前のこの神秘的な工芸を訪ねようと心に留めたのです。

後になって知ったことですが、ヨーロッパでは防腐処理が施されるのに対し、この技法は傷つきやすい皮を何世紀にもわたって保護してくれます。これは、正倉院に保管されている皮箱の状態からも証明されます。加えて、漆を添加していない透明な層に金粉、銀粉または貝殻粉を振りかける（＝蒔絵）ことで、ホログラム的な効果を出すことが可能です。それと同

時に、表面の光沢感は、絹のような艶消し仕上げから艶のある鏡面仕上げまで様々に作り上げることができます。このことは、数多くのグラフィックゲームに可能性をもたらしました。それに、この液状半透明の樹脂に顔料と増粘剤を加えることで、素朴な石や竹、桜の樹皮から貴金属板まで見た目を様々な素材に似せることができます。しかも、伸びが良いので平らな面に塗るのに完璧で、粘着性が強く複雑な造形に適しているのです。この粘着力を用いて、傷ついたり割れたりした漆器や瀬戸物もつなぎ合わせて新たに使用することができます（金継ぎ）。耐熱性が並外れているので、漆で修繕された椀でも熱いお茶を入れることができます。最初は煌めく漆の温かい触り心地に惹かれたのですが、次第に限りない用途の可能性を知ることにつれて、子供の頃から探していた「奇跡の素材」をついに見つけたのだと思うようになりました。それ以来、自分は恵まれていると感じています。制作過程では大変な作業段階もそれはありますが、退屈なことはひとつもありませんから・・・。

3. どこで、誰に専門技術を学びましたか？

私が日本に行った当時は、ずいぶんの間漆工房が見つからなかったのが、代わりに魅了されたのが、布地のように柔らかくちりめん加工された和紙を皮のように用いて物を作る技法でした。私のハンガリーでの専門に通ずるものがあつたからです。ですが、そのうちに渋谷にある村井養作漆芸学校を探し出したので、すぐさまそこへ入学しました。そこで3年経ったころ、根気が認められ師は荻窪にある工房へ私を招いて下さいました。そこでは、既に何十年も“先生”のもとに通っているお弟子さんたちに会うことができました。私も以降16年間、2012年に先生が93歳で亡くなるまで聴講生として教えを受けることができました。先生は、膨大な知識の断片と若々しい研究意欲を長年の聴講生たちに教え与えて下さいました。ご子息のご尽力により、学生たちは師を偲んで今日でも工房で共に創作活動をしています。みな年配ですが、今年も勉強仲間と会えることを願っています！そして、村井先生は若い頃、東京藝術大学で教鞭をとられていたので、先生の推薦で1997年から1998年の間、研究生としてそこで勉強させていただきました。大西長利教授、三田村有純教授、増村紀一郎教授に師事しました。この間、荻窪の工房へも定期的に通いました。漆芸学校と大学ではどちらでもまず、過去の大家の作品を模造しました。手作業の技法と精神面の謙虚さを身に付けるためです。ヨーロッパでも中世までは勉強の一環として模造が行われていましたが、残念ながら今日では、こうした模造がもたらす複合的かつ有益な効果は忘れ去られてしまっています。



4. 特殊な材料は、どこから取り寄せていますか？

漆は、特徴の異なるものをいくつか日本から取り寄せています。一番品質が良いからです。螺鈿（らでん）という貝殻は、種類の多い韓国から取り寄せています。個人的な創作過程で役に立つカブリモドキの殻は、今まで昆虫採集家の友人からもらっていました。馬毛はハンガリーで買います。

5. どんな種類の作品を今までに制作しましたか？自信作はありますか？写真は？

一度、無常の一瞬を永遠のものにしたいと思い、蜘蛛の巣と、それを作っている蜘蛛を漆で“ミイラ化”するアイデアを思いついたことがありました。なのですが、かわいそうで蜘蛛を殺すことができませんでした。それで、昆虫採集家の友人からすでにもらっていた虫たちを次々に漆で固めることを始めました。こうして独自に私の“虫の殻”技法が出来上がりました。先生は、何か月もじっと私の試みを注視されていました。そして作品が出来上がった時、棚から古代の漆芸品集を取り出し、ある作品を見せて下さいました。虫の羽を用いる試みは、実は昔すでに行われていたのです。ですが、先生のいつもの教え方として、私がこのアイデアの第一人者ではなかったことを暗示されたのではなく、千年以上も前に似たような虫の羽で装飾された仏具（玉虫厨子）の状態を見せることで、私の試みた作品がいかにも生命維持力を持っているかを証明されたのです。そんな訳で、このアイデアのことを一番誇りに思っています。ハンガリー人として、馬毛のアクセサリーに金メッキを施すことにも喜びを感じています。これは馬の尾毛の長い部分を編み込んだものです。細やかな作りの表面に金メッキの魔法をかけることで、“貴金属の網目”のように変えることができます。

6. どこで展覧会をしましたか？応募やコンクールに参加したことはありますか？

数年にわたり、興味のあるハンガリー人の方を対象にスクリーンを使った講演を行っているのですが、漆の特性や加工方法、伝統的な使用分野から現代の状況までを紹介する際に、私の作品を映します。それをきっかけに、個展やグループ展覧会などでお披露目することができました。（ハンガリー応用美術館、ホップ・フェレンツ東洋美術館、ペーチのヤヌス・パンノニウス博物館、ソンバトヘイの画廊、ブダペストはシャーマン・ギャラリー、スターリング・ギャラリー、ブダエルシュ地区のジチ城、市営図書館、自治体ギャラリー、オーブダ地区の熱帯樹木スタジオ、ブダペスト現代美術館国立サロン）日本国際交流基金の応募では、今までに半年間の日本研究留学と、出版物刊行の賞をいただきました。

7. 将来を踏まえて、どんなことを計画していますか？

日本では漆塗りの技術だけでなく、素晴らしい一致団結の機能とパワーも学びました。私の目標は、自分の作品を通して“社会的精神”の必要不可欠性を呼びかける道を模索することです。それで、そのために必要な視覚的システムを作り上げる計画を立てました。ユングは

かつて古代の人々の普遍的深層心理作用から“元型イメージ（集合的無意識）”の概念を提唱しましたが、まさにその通りに私たちの精神と心が一斉に動かされるようなシステムができればと思います。

他には、2004年に国家支援を受けて日本の漆塗りの歴史と技法を紹介する原稿を執筆したのですが、それに新しい研究結果を付け加えて内容を更新し、発行スポンサーを探すことに決めました。そうすれば、ハンガリーの学生たちは、ハンガリー語でこの日本の奥深い特殊な技術に触れることができるようになるでしょう。

8. これまでの仕事を振り返って、どのように自己評価していますか？

私は、日本で学んで得た経験や教訓、失われてしまった古代の人々の普遍的深層心理作用の意味や力について、自身の作品の中で特別な装飾を通して物語るようにしています。最近では、同様の課題に勤しむ方たちと交流する機会も増えてきました。お互いの質問に答える形で、私は作品の形成について話し、相手は自分の仕事について話します。私は旅行することが多いため、今まではこのようなやりとりは波のように不安定だったのですが、最近では問い合わせて下さる方たちと会話が続くようになりました。テーマの特殊性から、技術面と理論面で上達することは、単なる専門の問題ではなく個人の問題だと考えるようになりましたが、日本滞在中にこのような特別な素材や職人技に触れることができたこと、何よりも、学生であれ師であれ、漆工芸に携わる人たちの模範的な世界観や生き方に出会えたことは、大きな助けとなりました。私の作品を見たり講演を聞いたりした方は、この証人であり、そのおかげでホップ・フェレンツ東洋美術館の蒔絵展覧会の際にお招きいただき、技法を紹介するイラストを作成することができました。後に、そのイラストは他の作品と一緒に美術館にご購入いただき、嬉しく思っています。

9. ハンガリーもしくは他の国で作品を鑑賞することはできますか？

イギリスの職人指導者ブックの漆工芸に関する章で、私の創作過程が写真付きの文章で紹介されています。オーダーを優先で請け負っていますので、日本以外ではハンガリーの個人コレクションでご覧いただけます。公共の場所では、ハンガリー応用美術館の現代漆コレクションに私の漆塗りの箱二つが収められています。

10. 読者の方に向けて、お知らせや告知はありますか？

まもなくホームページ(www.japaneselacquer.hu)とフェイスブックのページが新しくなります。今日お話しした精神に培われたテーマについて、皆さんにお伝えできるように努めますので、どうぞご覧ください。

インタビュー期日：2018年12月18日

ソルノク市と遊佐町の姉妹都市関係について

Czikkely Zsuzsanna

まず、このテーマについて初めて聞いたのは、祖母からであった。祖母は私の故郷の大事な行事をビデオで記録していた。中学生の時、遊佐町からの使節団はラーコーツィファルバにも来てくれた。この行事もビデオで記録していた。そして私はそのとき、すでに日本に興味があったので、祖母がこの経験について数回話してくれた。

最初は、ティサ舞踊団の1983年のゲスト出演で、これは最後ではなく、1987年や2000年にもであった。次の出方は、2000年に友好条約の調印をされた。結局、2004年に公的な姉妹都市関係になった。

この関係を六つの分野に分類できると思う。最初のはこの関係の始めとの紹介で、例えばティッサ青年民俗舞踊団は非常に重要な役割を果たした。次の類は芸術、この中で主に音楽と舞踊と写真展である。たとえばさまざまな奏者と写真をとる人は日本からソルノク市へ来たがハンガリー人もソルノク市から日本に行った。ソルノク市の一番目の指揮者は井崎正浩という日本人である。井崎正浩さんのおかげでたくさんの有名なクラシック音楽を奏でている奏者もソルノク市に来た。写真展にかんしては例としてカルドシュ・タマーシュさんを言える。彼は1999年

から2009年にかけて日本に五回に写真展が開催された。この返し、田崎龍一さんは1990年から何回もハンガリーに写真展が開催された。

姉妹都市関係の他の部分は教育である。1994年から毎春に遊佐町と酒田市から生徒団がソルノク市を訪問した。遊佐町から来た教育的専門家はハンガリー教育制度、主にコダーイ手法を調べた。最近派遣団と一緒にハンガリーに来た生徒は報告書を書かなければならなかった。遊佐町の派遣団はハンガリー人に書道、折り紙、浴衣の試着などの活動を紹介してあげた。毎回芸術村にさようならパーティーを開いた。1990年代に遊佐町の幼稚園と小学校で最初の英語の先生もハンガリー人であった。この人はメレーニ・クリスティナさんであった。この経験がクリスティナさんの生活方向づけた。

三番目の類はソルノク市で相撲と極真空手などの日本のスポーツも人気があることである。例えば2004年にソルノク市に相撲ヨーロッパ選手権が催された。2017年に師範フルコー・カールマーンさんは八段をもらった。2010年に筑波大学から栗本宣和先生もソルノク市を訪問してもらった。

次は経済的な関係である。この関係は集めた資料に基づいてソルノク市より遊佐町に活発である。遊佐町では姉妹都市であるハンガリーのソルノク市との繋がりによって、2003年からパプリカの栽培が本格的に始まった。遊佐町の若手生産者の七人が現地に「パプリカ留学」し、研修に訪れていた。遊佐町のパプリカ栽培は、販売額、耕地面積においても、国産パプリカでは全国有数の生産地となった。2017年にこのプロジェクトが終わってしまい、発案者は高橋良彰さんであった。今はマンガリツァ飼育を始めたがっている。その以外に、2015年にハンガリー一魚肉ソーセージ騎士団も遊佐町を訪問した。ところで、この騎士団の会長は日本人によってシピさんとよばれるシーポシュ・ラスローさんである。シーポシュ・ラスローさんは1983年からこの関係の参加者である。例えばティサ舞踊団の一員であったり、日本に住んでいたりと、遊佐町から派遣団が来たとき、通訳の役割を果たしたりしている。何回もソルノク市に桜の木も一緒に植えた。

次の部分は遊佐町とソルノク市の市役所の関係である。遊佐町の以前の市長は小野寺喜一郎さんであり、最初からこの関係を非常に興味があった。小野寺喜一郎さんは1991年に結成された山形県の遊佐町の日本とハンガリー友好協会の会長になった。2000年にソルノク市に友好交流都市協定書を調印し、同年にソルノク市の市長は遊佐町を訪問し、そこで

友好交流都市協定書を調印した。次は2004年の姉妹都市協定書の締結であった。

この関係の記念日は特別なので、このような際は非常に大切になった行事であったと思う。例えば1993年に酒田フィルハーモニー管弦楽団は一回目にソルノク市に演奏した。2007年の遊佐町の派遣団の人数は56人であった。今回は楽器の寄付と経済的なフォーラムや展示会などのさまざまな活動が起こった。この以外に派遣団はラーコーツィファルバも訪問した。2009年は遊佐町とソルノク市の関係の視点から見なければ、日本・ハンガリー外交関係開設140年記念日、国交回復50年記念年もあったので、重要な年であった。この結果には井崎正浩によって指揮されたソルノク市立交響楽団も日本へ演奏旅行に行った。2009年は遊佐町にとっては特別な年であったので、1954年に1町と5村の合併で遊佐町が誕生された。それでこの55年記念日の祝いにもソルノク市立交響楽団は出場し、ソルノク市の市長のサライ・フェレンツも遊佐町を訪問した。実は2009年が行事で一杯であったと思う。2018年にソルノク市でこの関係の35周年の祝いは3日間かかった。この夏はソルノク市でソルノク市立交響楽団と遊佐混声合唱と一緒に野外コンサートを開いた。

去年私はコヴァチュ・ミハユさんとメレーニ・クリスティナさんのインタビューを分析してみた。この分析の結果からは、面白いことが数多く分かって来た。例えばハンガリー人にとっては入浴の習慣が

珍しいとか、家内のスリッパの使い方から生じた誤解についても聞けた。そして日本学科の勉強している間に現れる概念の現象がここに現れ、例えば廁神、建前、本音、甘えということであった。

私は「ソルノク市と遊佐町の姉妹都市関係について」に関してアンケート調査(2018年2月から4月まで実施し、遊佐町とソルノク市の関係を知っている人対象、回答者の人数は約42名)を行った。それによると「最初はどんな違いを気が付きますか」という質問に、日本人は言語と食文化と教育の内容と答えた。例えば齋藤愛彩さんは「私がまず驚いたのはハンガリーの人は話す時に手振り身振りを使って、会話することです。日本人は話す時にあまり大きな動作はしないので、ハンガリー人の話す時の動作に驚きました。あとは、ハンガリーの学校を訪問した時に生徒が制服を来ておらず、私服で登校していることに驚きました。日本では中学校や高校には必ず制服があり、その制服を着て学校に行く必要があります。(中略) だからハンガリーの学校の外見の自由さにとても驚き、羨ましいと思いました。日本の中学校、高校には外見の自由はあまりありません。(中略) あとはやはり食文化でしょうか。スーパーマーケットで売っているパンの大きさはびっくりしました。あまりにパンが大きくて、びっくりしたので私はスーパーマーケットのパンの前で写真を撮りました。ハムも大きかったですね。日本では一口で食べられる大きさのハムしかないのです、初めてハン

ガリーのハムを見た時は新鮮でした。(略)」と答えた。そして「最初はどんな似ていることを気が付きますか。」について、ハンガリー人が芸術に対して興味や伝統に執着と答えた。その対して、日本人が「名前の順番」と「温泉があること」と「血管でモングロイドの血が流れている。」と答えた。そして、アンケートの終わりにみんなは自由なコメントを書いた。例えばソルノク市の市長、サライ・フェレンツさんが「遊佐町に住んでいる人にとって白人はソルノク市から来た人だけです。ある日は遊佐町の市場に行ったとき、私たちの周りにはソルノク市、ソルノク市と聞きました。すなわち、この人々にとってはヨーロッパ人はソルノク市から来た人だけです。」と答えた。その以外に約17つの質問に答えていた。私は答えを読んだとき、非常に面白く、思いも寄らないことに会った。

この姉妹都市関係は非常に面白く、重要だと思う。それでソルノク市と遊佐町はこの調子で頑張ってください。

ツッケイ・ジュジャンナ (ELTE 博士課程在学)

日本人学校作文

見方を変える

菊内 愛莉

「まあいっか」「まあいいや」

これは、私の口ぐせだ。どうしてこうも私は無責任にものを言えるのだろう。自分でも少しあきれた。大事なことで、このくせが出てきてしまう。

そのせいでこんなこともあった。それは、「児童会長になった」ということだ。その仕事を任される前、多少の不安はあったもののまた、「まあいいや。取りあえず、何とかなるだろう」で、すませてしまった。これが私の悪いくせだ。先を考えない。何かの案を出すときもそうだ。

「〇〇しよう！」

と言っても

「材料は？場所は？ほんとにできるの？」と、聞かれると何も言えなくなる。やれやれ。そんな時、先生から、「いろんな見方を持つことが大事」という話を聞いた。そして、

「自分が悪いと思っているところも見方次第でいいところに変えることができるかも」と考えた。私の悪いところ、「先を考えない」ところも「今、思ったことにまっすぐ突き進む」ところ、と言いかえれば悪くはないと思う。「何でもかんでも思ったことを口に出してしまう」ところも、「素直」と言いかえれば悪くはない。自分の悪いところを認めないのは、良くないけど、そのせいで自分に自信を持ってないのは、もっとよくないと思う。

このように、見方を変えれば自分の悪いところを少し、ポジティブにとらえることができる。また、他のことでも同じことが言える例えば、どんなに不格好なものでも、ひとつのアートといえれば気に入ってくれる人もいると思う。また、この「見方」は、国によって違えば、人によっても違う。そんな色々な見方に目を向けて、それを自分の見方に活かしていきたい。

大きく変わった自分

本 ケアーン

僕は、この学校にきてから大きく変わったこれは、昔の自分と今の自分を比べて分かった。昔の学校では、発表ができず、自分の意見が言えなかった。でも自分の意見を言わないと、成長しないということに気づいた日本人学校に転入した後も、自信がなくて発表ができなかった。

五年生になると、人数が急に減った。意見を言わないと話し合いも進まなかった。前期の学級委員は、迅征君がやってくれたが、後期はぼくがやらなければいけなくなった。僕は、大きく変わらないといけなかった。最初は前に出るのも恥ずかしく、毎朝集まるのも嫌だった。でも、「みんなのために」という意識が付いたから、六年生でも学級委員に挑戦した。

今回は児童会長という小学部全体をまとめる大きな仕事に就いた。これまで話し合いを進めてもらっていた自分が、今度は進めていかなければならなかった。五年生の時は評議会で委員長が話しているのを「すごい」と思って見ていた。そして、僕もいつかこの場に立って話すとは思っていなかった。実際に前に立った時は、緊張したがしっかり話せた。

前期の一番大切な行事、夏季合宿がやってきた。遠足の反省も、生かさなければいけなかった。僕には他に二つの仕事もあったから大変だった。クラスでは当日のキャンプファイヤーのことを予想して準備しなければならなかった。ここでは、上手くいくためには、先を予想することが大切だと分かった。

僕は、中学生になったら、児童生徒会長や色々な委員会の委員長にもなるかもしれない僕のこれからの未来は分からない。でも大きくなって困らないためには、今から準備をした方がいいと思う。そして、昔の自分なら考えられないことを、今は考えられるようになった。僕は、大きく変わった。

みどりの丘日本語補習校 学習発表会

柳沢 佳名子

今年度、校舎がセント・アンゲラ小学校に移転して初めての発表会となりましたが、会場の多目的教室はとてもアットホームな雰囲気で見守り、生徒も落ち着いて発表することができました。

初めに運営委員長のごあいさつがありました。その中で発表する時には、「大きな声で、ゆっくり、はっきり」、そしてお友達の発表を聞くときには、「話している人を見て聞くこと」を見守りとの約束として話していただきました。

トップバッターは小学一年生の「かずとかんじ、日づけとよう日」

4月に補習校に入学してからたくさんひらがな、カタカナ、漢字を学んだ一年生。漢字には一つの字にいろいろな読み方があることを学びました。そこで教科書の中の単元で数え歌と日付と、曜日の歌の暗唱をしました。一年生にとっては、初めての学習発表会。期待と不安が混ざりながら全員がしっかりと元気な声で落ち着いて発表していました。

小学二年生は、「伝えよう、大好きなもの」

単元にある「大好きなもの、教えたて」から、大好きなことを発表しました。少しずつ書きたいことが自分でも書けるようになり、みんなにも伝えられるようになった二年生。ゲーム、雪、お家で飼っている犬、クリスマスにももらったおもちゃなど、絵に描いてその絵を見せながら、いつもらったものか、なぜ好きなのかなど全員に伝わりやすいよう工夫して発表していました。

小学三年生は、「三年とうげ」

朝鮮半島の民話で音読劇でした。「三年とうげでころぶでないぞ、三年とうげで転んだならば、三年きりしか生きられぬ。」といわれている峠で、おじいさんが転んでしまったので、さあ大変！そこにトルトリという若者が見舞いにやってきて、三年しか生きられないと嘆いて、寝込んでいるおじいさんに、「一回転んで三年生きられるのならば、二回転べば六年、三回転べば九年……」と助言をし、おじいさんは峠に行って、何度も転んで、転んで元気を取り戻すというお話です。

音読劇ですが動きもつけての発表で、おじいさんが何度も転ぶ場面は、会場も笑い声に一つまれました。

小学四年生は、「ごんぎつね」

とても有名な新美南吉のこのお話。

いたずらぎつねのごんが、兵十の川でとったうなぎをいたずらで盗みます。その後、兵十の母親が病気で死んでしまい、それを聞きつけたごんは、自分がうなぎを盗んだから兵十の母親は、精をつけることができずに死んでしまったのだと思います。その日から毎日、山で採った木の実や、川で取った魚を兵十の家にそっと置いて罪を償います。しかし、そうとは知らない兵十は、ある日、自分の家の裏から食べ物を置いて出て行こうとするごんを見つけ、また悪さをしにきたのだと思い銃で撃ってしまいます。かけよって見て、兵十は初めて、ごんがやっていたことだと知り、後悔と悲しみにくれるというお話です。

四年生は劇での発表でした。衣装もしっかりと準備して、たくさん練習した様子が見て取れました。台詞のいいまわしも工夫している様子がわかり、深く読み込んでいるという印象でした。

小学五年生は、「あめ玉」

橋がない川の向こうに行くとき、渡し舟に乗ります。その舟の乗り場に乗客がやってきました。おかあさん、二人の小さい子供達の家族と、お侍さんが一人。子供達は舟の道中、お母さんの持っているあめ玉を食べたいとせがみますが、あめ玉は一つしかありません。そこで、お侍さんが自分の持っている刀であめ玉を二つに切ってくれました。川の向こうについてから、売っているあめをかってほしいと、子供たちはまたまたおかあさんにせがみますが、お母さんはお金がありません。そこで、さっきのお侍さんがあめを全部売り子から買って子供達に渡します。怖いと思っていたお侍さんだったけれど、とても優しくて粹な事をしてくれるというお話です。

小道具も準備して、台詞もしっかり覚えて、衣装も浴衣や袴を準備するなど工夫をしていました。台詞も全員しっかり覚えての挑戦でしたが、練習の成果が発揮できていました。

小学六年生、「柿山伏」

小学部最上級生の六年生は、なんと狂言。私は狂言と言っても日本のテレビで少し見たことがある程度なので、ほとんど何も知りません。なので、とても楽しみにしていました。

始めに、狂言とはどういったものか、「所作」といって笑う、泣く、などきまった表現方法があること、舞台での歩き方、話し方についてなどの説明がありました。非常にわかりやすく、さすが六年生、お客さんにしっかり伝わるように、構成も考えられているな～と感心しました。

「柿山伏」とは、畑の柿を勝手に食べてしまった山伏が、畑の主にくらしめられるお話です。柿の木に隠れた山伏、ですが畑の主はかくれていることがわかっているので、「木の上にいるのは、ありゃ、からすじゃ。からすだったら、鳴くので、鳴かぬならば弓で射てころしてやろう。」と山伏に振ります。山伏は、畑の主にはばれていることを知らないので、必死にからすのまねをします。この調子で、かわいそうに山伏は、さる、そして鳶の真似をし

す。畑の主が山伏に「鳶だったら飛ぶものだが、お前は飛ばぬか。」と振り、山伏をのせるだけのせて、山伏は飛ばざるをえなくなり飛び降りてしまいます。最後は、「いたい～」となり、畑の主は「じゃあ、帰ろう」というオチ。

六年生は日本人でもあまり馴染みのない「狂言」をこの日のために動画で見たりして研究したのでしょうか、とても表現豊かに演じていました。声の強弱や抑揚を、自分なりに考えて伝えようとしている姿を見て、さすがだな～と感じました。

中学一年生は、「落語」

小学六年生に引き続き日本の伝統芸能です。始めに落語のルーツや決まった表現方法などの簡単な説明がありました。演目は「ねずみ」と「反対車」の二つでした。中学生ともなると現地の学校も忙しくて大変な中、中学一年生の二人は、台本をほとんど覚えている様子でした。覚えるだけでも大変だったのではないのでしょうか。でも中学生らしく、落ち着いてしっかりと声が出ていました。

中学三年生は、「様々な方言」

同じ日本語でも地方によって表現が様々な方言。中学三年生は、親戚や友人が住んでいる親しみのある地域の方言について調べ発表しました。

同じ関西でも大阪と神戸では違いがあったり、江戸弁、岐阜弁など私あまり馴染みのない地方の方言についても知ることができて大変興味深かったです。発表する際の、声の大きさ、舞台での振舞い方も補習校の最上級生らしく立派でした。クイズを取り入れ、会場のみんなが盛り上がり、要所要所で笑い声もあり、小学部の低学年などは、だんだん飽きてくるころなのに、その様子は全くなく非常に楽しんで発表を聞いていました。

最後は、全員での合唱 「みんなの夢が叶う星」

この歌を補習校の合唱で歌うのは初めてだったので、一月から毎週練習してきました。音取りからの練習でしたが本番が一番、声も出ていて上手に歌うことができました。

全演目が終了後は、来賓のお客様、在ハンガリー日本国大使館参事官、高水様そして、ブダペスト日本人学校校長四ノ宮先生からご講評をいただきました。

私は今年度、小学一年生の担任でした。四月に入学した頃は、まだまだ幼く小さな一年生が、二月には立派に発表している姿に感動しました。

毎週の練習はとても楽しく、子供達も初めての発表会にわくわくしている様子で緊張などはあまり感じていないように見えました。

舞台リハーサルも普通の教室から場所が変わっただけで、なにかわくわくしている感じ。練習でも声は出ていたので発表については心配はしていませんでした。でも一つだけ不安だったのは、他の学年の発表を最後まで聞けるかなということでした。

しかし、そのような私の心配をよそに子供達は真剣に上級生の発表を聞いていました。その様子を見て、子供が子供同士でしっかりと学びあっているのだと、私自身、再確認することができました。そして、「学校」というのは、そういう場所であるということも。

子供達が出会うたくさんの「初めてのこと」、学習発表会もその中の一つです。その瞬間に立ち会えたことを大変嬉しく思います。

この日のために、協力して下さった運営委員の皆様、保護者の皆様、ご来賓くださった在ハンガリー日本国大使館参事官、高水様、ブダペスト日本人学校、校長四ノ宮先生、そして他の先生方に心よりお礼を申し上げたいと思います。ありがとうございました。

作文

中3 坂井 香里奈

今年の学習発表会は、新しい会場で行われました。なぜなら、昨年九月から補習校は新しい校舎に移ったからです。舞台がなくなり会場全体が少し狭くなったため、私たちは床にブルーシートを敷き、そこに座布団を持ってきて座りました。例年のように、在ハンガリー日本国大使館やブダペスト日本人学校から来賓の方々や保護者の皆様がたくさんいらして下さったので、会場は賑やかな雰囲気になりました。

演目は、教科書にある「かずとかんじ」「ひづけとようび」を暗記して、テンポよく発表した小学一年生から始まりました。小学二年生はリレー形式で「自分の大好きなもの」を分かりやすく教えてくれました。その後は、教科書の物語を劇にしたものや狂言や落語といった古典芸能の紹介が続きました。私たち中学三年生は、日本の文化の一つでもある方言について調べたことをクイズを交えながら発表しました。どの学年も長い台詞を覚えたり、文章を読み上げるときに大きな声でゆっくりと、そしてはっきりと伝えることができていたので、練習の成果が出ていたと思います。頑張っているみんなを見ていると私がよく耳にする「継続は力なり」ということを改めて感じました。おそらくみんな、少ない授業時間の中で工夫をしたり、それを家庭でも繰り返し練習をしたりしたのだと思います。

実は、私にとっては、今回の学習発表会が九回目となり最後の発表会でした。お客様の前で発表していたら、以前の発表会のこと脳裏に蘇ってきました。衣装をつけて役のイメージを出しながら劇をしたり、熱を出しながらも自分の役目をやり遂げたりしたこともありました。

今回の最後の発表会を通してそんなことを振り返りながら、がんばって補習校を続けてきてよかったと改めて感じています。授業日が少ない補習校なので、準備や練習は本当に大変ですが、これからも素晴らしいみどりの丘日本語補習校の学習発表会が続いていくといいなと思っています。

GERE

GERE ATTILA PINCÉSZETE

ハンガリー・ヴィッラーニ地方の赤ブドウ加工品

GEREワイナリー製品

無添加自然加工(自然の恵みもの)
ポリフェノミクロン(商標登録申請中)

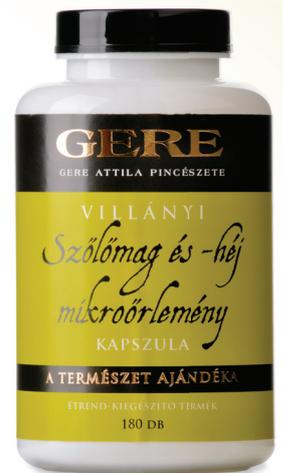


100% SZŐLŐMAG OLAJ シードオイル(箱付き、250ml)

ポリフェノールと不飽和脂肪酸を含んだ赤ブドウの極上低温圧搾シードオイル

成分構成: 不飽和脂肪酸 min. 80%, ポリフェノール min. 6%
使用法: サラダなどの冷たい食べ物に直接かけたり、パンへ直接かけて、ほのかな香りを楽しみ、食欲を増進。

1日の摂取量: 小さじ1杯(およそ5g)を毎朝、可能な限り、空腹時に摂取するのが望ましい。



SZŐLŐMAG & HÉJ MIKROŐRLEMÉNY 種子と果皮のマイクロ粉末 (ポリフェノミクロン) (カプセル180個)



KÉKSZŐLŐMAG & HÉJ

種子と果皮のマイクロ粉末
(缶入り徳用缶、150g)

ポリフェノールをふんだんに含む有機栽培赤ブドウの種子と果皮を粉碎したマイクロ粉末

ポリフェノール成分: 5gの粉末はおよそ250mgのポリフェノールを含む。
使用法: 粉末をそのまま食することは避け、ヨーグルトなどに混ぜて食する。
1日の摂取量: 1日に小さじ1杯の粉末を2回に分けて摂取。

100% SZŐLŐMAG OLAJ/ KÉKSZŐLŐMAG & HÉJ シードオイル&ポリフェノミクロンセット (化粧箱入り)

以下のサイトから購入できます。
<https://www.gere-club-japan.com>

イベント情報

○ブダペスト・パラチンタフェスティバル 3月8-10日

会場：Allee ショッピングセンター隣 Budapest, Kőrösy József u. 1117
100種類以上のパラチンタが展覧されます。

<https://www.facebook.com/events/403238650418116/>



○ブダペスト・デザインマーケット 3月10日

会場：ミネナーリシュパーク B セクター 1024 Budapest, Kis Rókus u. 16-20.
100以上の各デザインブースが展覧され様々なオリジナルグッズを購入する事ができる。

https://www.wamp.hu/hu?fbclid=IwAR3XBbn2Hy0qr6ijW50wzQxPtx2pPhFE_MATcJAFhrYC0tk0PeaKwNX4msw



○インカの黄金展覧会 3月13日～

会場：Komplex Event Király u. 26, ブダペスト, 1061

https://www.facebook.com/events/416435069112791/?event_time_id=416435075779457



○ハンガリー革命記念日 3月15日

国内各所で様々なイベントが行われます。
国会議事堂や国立博物館を始め、無料開放される会場もございます。

<https://www.budapestbylocals.com/event/15th-march/#budacastleprograms>



○レオナルド・ダ・ヴィンチ展覧会 3月16日～

会場：Leonardo da Vinci 展覧会 Élményüzem
Király utca 8-10., ブダペスト, 1061

没後500年を記念して開催され、有名画23点を含む約60点が出展される。

<https://www.davincikiallitas.hu/>



○聖パトリック日・ブダペスト 3月17日

会場：自由広場 V., Szabadság tér



https://stpatricksdaybudapest.com/?fbclid=IwAR1fQxSRaWdZ0A82ohkh6xZxsFcRfuTWv_XOGb13Shad3XudD-xdfyxCZwc

○Immunovet 国際猫博覧会 3月16-17日

会場：Lurdy Konferencia és Rendezvényközpont
Könyves Kálmán Körút 12-14. I. Emelet, ブダペスト, 1097

<https://www.facebook.com/events/345675256290560/>



○春の胡蝶蘭・ブロメリア展 3月21-24日

会場：ハンガリー農業博物館, Városliget (英雄広場)
Magyar Mezőgazdasági Múzeum, Városliget
Budapest, Vajdahunyad stny., 1146

<https://www.facebook.com/events/2062537170503098/>



○ブダペスト中央ヨーロッパ・ファッションデイ 3月29-31日

会場：Várkert Bazár Ybl Miklós tér 2-6, ブダペスト, 1013



<https://bcefw.com/> ファッションショーを始め様々なプログラムが開催されます。

○魔法の世界展覧会 3月30-5月26日

会場：ハンガリー農業博物館 1146 ブダペスト Vajdahunyadvár

[http://www.mezogazdasagimuzeum.hu/kiallitasok/varazslatos-vilagur-csillagkozi-](http://www.mezogazdasagimuzeum.hu/kiallitasok/varazslatos-vilagur-csillagkozi-kaland-kiallitas-es-jatek)

[kaland-kiallitas-es-jatek](http://www.mezogazdasagimuzeum.hu/kiallitasok/varazslatos-vilagur-csillagkozi-kaland-kiallitas-es-jatek)



○第25回タイタニック映画フェス 4月4-12日

会場：各映画館 <http://titanicfilmfest.hu/idopontok>

○ブダペスト春の芸術祭 4月5-22日

会場：各会場 <https://btf.hu/>

○Spring & Easter マーケット・Vörösmarty 広場 4月5-28日

会場：Vörösmarty 広場 Budapest-Vörösmarty tér, district V.

○桜フェス・ブダペスト 4月6-7日、13-14日

会場：Füvészkert Botanical Gardens

<http://www.fuveszkert.org/hirek/a-fuveszkert-idei-programjai/>

○イースター・ブダペスト 4月19-22日

各会場で様々なプログラムが開催されます。

<https://www.budapestbylocals.com/event/easter-in-budapest/>



○動く恐竜ショー4月19-21日

会場：パプ・ラースロ・スポーツアリーナ Stefánia út 2., Budapest, Hungary, 1143

<http://setaadinoszauruszokkal.hu/>



○国際ブックフェスタ 4月25-28日

会場：ミネナーリシュパーク B セクター

Millenáris, Kis Rókus u. 16-20., Buda, district II

♭ソロ、 ※室内合奏団、 ♪オーケストラ、 #室内楽、 ♪合唱音楽、 ∞その他	
<p>3月</p> <p>☆モーツァルトの日 3月10日 11:00 - 22:00 リスト音楽院 https://www.mozartnap.hu/</p>  <p>#5日(火) 18:00 バルトーク記念館 ヴァルガ・オスカル (ヴァイオリン) ボルベイ・ラスロー (ピアノ) 曲目: バルトーク: 狂詩曲第1番 BB.94 ドビュッシー: ヴァイオリンソナタ その他</p> <p>♪7日(木) 19:30 フェシュティチ宮殿 ハンガリー国立オーケストラ・室内合奏団 カントール・バラジュ (チェロ) 指揮: ハマール・ジョルト 曲目: ハイドン: チェロ協奏曲 Hob. VIIIb:5 ハイドン: 交響曲『受難』 Hob. I:49 その他</p> <p>#8日(金) 19:30 芸術宮殿バルトークホール ケレメン・バルナバーシュ (ヴァイオリン) with フレンド 曲目: バッハ: ブランデンブルク協奏曲第6番 BWV.1051 ハイドン: ヴァイオリン協奏曲 HOB. XVIII:6 その他</p> <p>※9日(土) 19:30 リスト音楽院大ホール レンドヴァイ・ヨーゼフ (ヴァイオリン) リスト室外合奏団 曲目: ストラヴィンスキー: 協奏曲二長調 チャイコフスキー: フィレンツェの思い出 その他</p> <p>※10日(日) 19:00 ブダペスト音楽センター センメルヴァイス室内合奏団 曲目: ヘンデル: 協奏曲 Op. 6 No. 1. モーツァルト: フルートの為のアンダンテ その他</p> <p>※11日(月) 19:30 リスト音楽院大ホール カメラータ・ザルツブルグ リサ・バティアシュヴィリ (ヴァイオリン、ジョージア) フランソワ・ルルー (オーボエ、フランス) 曲目: メンデルスゾーン: ヴァイオリン協奏曲二短調 ルブラン: オーボエ協奏曲二短調 モーツァルト: 交響曲第31番 K. 297 „パリ”</p> <p>※13日(水) 19:30 芸術宮殿バルトークホール</p>	<p>♪14日(木) 19:30 芸術宮殿バルトークホール ハンガリー国立オーケストラ&合唱団 コロンチ・クララ (ソプラノ) サント・アンドレア (アルト) 指揮: ハマール・ジョルト 曲目: マラー: 交響曲第2番『復活』ハ短調</p> <p>※16日(土) 19:30 リスト音楽院大ホール ランキ・デジュ (ピアノ) ブダペスト弦楽合奏団 曲目: モーツァルト: ピアノ協奏曲 KV.449, KV.450 モーツァルト: 交響曲第23番 その他</p> <p>#18日(土) 19:00 オーブダ集会場 コダーイ弦楽四重奏団 曲目: チャイコフスキー: 弦楽四重奏 op. 11 ドボルザーク: 弦楽四重奏『アメリカ』 op. 96 その他</p> <p>♭19日(火) 19:30 リスト音楽院大ホール ニコライ・ルガンスキー (ピアノ、ロシア) 曲目: ドビュッシー&スクリャービンプログラム ドビュッシー: 喜びの島 スクリャービン: ピアノソナタ第3番嬰へ短調 op. 23 その他</p> <p>#19日(火) 19:00 ハンガリー国営ラジオ大理石ホール ヴァルガ・ガーボル (クラリネット) フェイェヴァーリ・ゾルターン (ピアノ) エカテリーナ・フロロヴァ (ヴァイオリン、ロシア) アールヴァーイネー・ネズヴァルド・アネット (ヴァイオリン) コーチャー・ペーテル (ビオラ) ショモダリ・ペーテル (チェロ) 曲目: マルティヌー: 3つのマドリガル ゼムリンスキー: 3重奏 Op. 3. ドホナーニ: ピアノ5重奏ハ短調 Op. 1 その他</p> <p>#19日(火) 19:00 リスト音楽院ショルティーホール アマディンダ打楽器アンサンブルプロジェクト 曲目: スティーヴ・ライヒ: ドラミング</p> <p>♪20日(水) 19:30 芸術宮殿バルトークホール</p>

<p>バルトーク：狂詩曲第1番 その他</p> <p>♠27日(水) 12:00 聖イシュトヴァーン大聖堂</p> <p>兵庫稲美少年少女合唱団</p> <p>指揮：椿野 伸仁</p> <p>曲目：教会音楽プログラム</p> <p>♠27日(水) 28日(木) 19:00 リスト音楽院ショルティールホール</p> <p>アンティエ・ヴァイトハース (ヴァイオリン、ドイツ)</p> <p>スーチ・マーテー (ビオラ)</p> <p>ヴァールダイ・イシュトヴァーン (チェロ)</p> <p>シモン・イザベラ、ヴァールイヨン・デーネシュ (ピアノ)</p> <p>曲目：シューマン：ヴァイオリンソナタ第2番 op. 121</p> <p>シューマン：ピアノ三重奏 op. 80 その他</p>	<p>♠31日(日) 16:00 MTA 音楽歴史博物館</p> <p>ダヌビアタレント音楽コンクール受賞者コンサート</p> <p>ピアノ・クラリネット・ヴァイオリン2重奏・ピアノ4手</p> <p>曲目：シューベルト：菩提樹</p> <p>リスト：ハンガリー狂詩曲2番 その他</p> <p>チャイコフスキー：交響曲第6番『悲愴』 その他</p>
--	---

♮ソロ、 ※室内合奏団、 ♪オーケストラ、 #室内楽、 ♠合唱音楽、 ∞その他

<p>4月</p> <p>4月5-22日 https://btf.hu/</p>  <p>♮3日(水) 19:30 リスト音楽院大ホール</p> <p>ラーンキ・フィリップ (ピアノ)</p> <p>曲目：超絶技巧練習曲 S.139</p> <p>♠4日(木) 19:30 リスト音楽院ショルティールホール</p> <p>バールショニ・ペーテル (ビオラ)</p> <p>バログ・ヨーゼフ (ピアノ)</p> <p>曲目：リゲティ：ビオラソナタ</p> <p>クレネク：ビオラソナタ (国内初演) その他</p> <p>♪6日(土) 19:30 リスト音楽院大ホール</p> <p>ボリス・ベレゾフスキー (指揮・ピアノ、ロシア)</p> <p>コンチェルト・ブダペスト</p> <p>曲目：ブラームス：ピアノ協奏曲第1番 op. 15</p> <p>プロコフィエフ：ピアノ協奏曲第1番 op. 10</p> <p>ショスタコーヴィッチ：ピアノ協奏曲第2番 op. 102</p> <p>♮7日(日) 17:00 Belvárosi Plébánia 教会</p> <p>ローマン・ディッタ (チェロ)</p> <p>曲目：バッハ&バログ・マーテープログラム</p> <p>♪10日(水) 19:30 ペシュティ・ヴィガド</p>	<p>♪12日(金) 19:30 ペシュティ・ヴィガド</p> <p>コンチェルト・ブダペスト</p> <p>サボー・イルディコ (チェロ)</p> <p>指揮：ヘイヤ・ドモンコシュ</p> <p>曲目：ロージャ・マイクロシュ；チェロ協奏曲 op. 32</p> <p>バルトーク：かかし王子 BB. 74</p> <p>※13日(土) 19:30 リスト音楽院大ホール</p> <p>ソコライ・バラージュ (ピアノ) リスト室内合奏団</p> <p>曲目：バッハ作曲ピアノ協奏曲全曲</p> <p>♮16日(火) 19:30 フェシュテティツ宮殿</p> <p>グウェンドリン・マシ (ヴァイオリン、オランダ)</p> <p>シモン・ブッヒャー (ピアノ、スイス)</p> <p>曲目：当日プログラム</p> <p>♪18日(木) 19:30 リスト音楽院大ホール</p> <p>オーブダ・ダヌビア交響楽団</p> <p>デブレツェン・コダーイ合唱団</p> <p>コロニッチ・クララ (ソプラノ)</p> <p>バコシュ・コルネーリカ (メゾソプラノ)</p> <p>ラブ・ジュラ、ホルヴァート・イシュトヴァーン (テノール)</p> <p>コヴァーチ・イシュトヴァーン (バス)</p>
--	--

<p>アルバ・レギア・交響楽団 ラーンキ・デジュー（ピアノ） 指揮：デュボーツキー・ゲルゲイ 曲目：ラヴェル：ピアノ協奏曲ト長調 ムソルグスキー：展覧会の絵 その他</p> <p>♭11日(木) 19:30 リスト音楽院大ホール Jl (Ji-Yong Kim、韓国、ピアノ) 曲目：バッハ：ゴールドベルグ変奏曲</p> <p>♪11日(木) 19:30 芸術宮殿バルトークホール キリル・ゲルシュタイン（ピアノ、ロシア） ハンガリー国立オーケストラ 曲目：ブラームス：ピアノ協奏曲第1番ニ短調 op. 15 リスト：ファウスト交響曲 S. 108</p> <p>♠12日(金) 19:30 リスト音楽院大ホール エリック・ウィテカー・シンガーズ（アメリカ） 曲目：エリック・ウィテカー作品プログラム バッハ；来たれ、甘き死よ ホーガン；Three American Spirituals その他</p>	<p>指揮：ハーモリ・マーテー 曲目：バッハ：ヨハネ受難曲</p> <p>♠19日(金) 19:30 芸術宮殿バルトークホール ジョセフ・カレヤ（テノール）&ハンガリー国立オペラ座 指揮：ピエール・ジョルジョ・モランディ 曲目：オペラ・アリア・テノール曲プログラム</p> <p>♪20日(土) 19:30 芸術宮殿バルトークホール マリインスキー劇場管弦楽団（ロシア） 指揮：ヴァレリー・ゲルギエフ（ロシア） 曲目：チャイコフスキー：歌劇『イヨランタ』コンサート形式</p> <p>♠22日(月) 19:30 リスト音楽院大ホール プラハ管弦合唱団&モスクワ・チャイコフスキーオーケストラ 指揮：ジャン・レイサム＝ケーニック 曲目：ドボルザーク：テ・デウム ショスタコーヴィッチ：ハムレット組曲 op. 116 その他</p> <p>他</p> <p>#23日(火) 19:30 リスト音楽院大ホール ミクローシャ・エリカ（メゾソプラノ） バラージュ・ヤーノシュ（ピアノ） 曲目：ドニゼッティ、ヴェルディ、シュトラウス、ピアソラ その他</p>
♭ソロ、 ※室内合奏団、 ♪オーケストラ、 #室内楽、 ♠合唱音楽、 ∞その他	
<p>♪24日(水) 19:30 芸術宮殿バルトークホール ハンガリー国立オーケストラ&合唱団 シュメジ・エステル（ソプラノ） ウルブリッヒ・アンドレア（メゾソプラノ） ブリックナー・サボルチ（テノール） チェル・クリスティアーン（バス） 指揮：小林 研一郎 曲目：ヴェルディ：レクイエム</p> <p>♪24日(水) 19:30 リスト音楽院大ホール ハンガリー放送交響楽団&合唱団 指揮：ヴァーシャリ・タマーシュ 曲目：ベートーベンプログラム フィデリオ序曲、レオノーレ序曲、 交響曲第9番『合唱付き』</p> <p>♪25日(木) 19:30 芸術宮殿バルトークホール</p>	<p>♪26日(金) 19:00 リスト音楽院大ホール マーヴ交響楽団 モルナール・アグネス（ソプラノ）・アンゲリカ少女合唱団 指揮：ケシェイヤーク・ゲルゲイ 曲目：ケシェイヤーク：聖マルギットミサ曲、アヴェ・マリア ベートーベン：交響曲第4番 op. 60</p> <p>♪27日(土) 28日(日) 29日(月) 19:45 リスト音楽院大ホール ブダペスト祝祭管弦楽団 レイフ・オヴェ・アンズネス（ピアノ、ノルウェー） 指揮：マンフレート・ホーネック（オーストリア） 曲目：モーツァルト：ピアノ協奏曲第21番 K. 467 チャイコフスキー：交響曲第5番 その他</p> <p>♪28日(日) 19:30 芸術宮殿バルトークホール</p>

<p>ペレーニ・ミクローシュ (チェロ) コンチェルト・ブダペスト 指揮：タカーチ・ナジ・ガーボル 曲目：ドボルザーク：チェロ協奏曲 op. 104 ブラームス：交響曲第1番 op. 68 その他</p> <p>#26日(金) 18:00 バルトーク記念館 マテウス・イシュトバーン (フルート) サカーイ・アーグネス (ピアノ) 曲目：ハンガリー人作曲家プログラム</p>	<p>ミシクロツ交響楽団 マルティン・ガルシア・ガルシア (ピアノ、オーストリア) 指揮：チェル・アーダーム 曲目：ラフマニノフ：ピアノ協奏曲第3番 Op. 30 ショスタコーヴィッチ：交響曲第10番 Op. 93</p> <p>b 29日(月) 19:30 芸術宮殿バルトークホール グリゴリー・ソコロフ (ピアノ、ロシア) 曲目：ベートーヴェン：ピアノソナタ op. 2 ベートーヴェン：6つのピアノ曲 op. 118 その他</p> <p>♠ 30日(火) 20:00 マーチャーシュ教会 ハンガリー放送合唱団 指揮：パウル・ヒラー 曲目：タヴァナー：王のキリエ バード：神に向かいて喜びもて歌え その他</p>
--	--

～会場～

- ・芸術宮殿 バルトークホール / Művészetek Palotája, Bartók Béla Nemzeti Hangversenyterem
IX. Komor Marcell u. 1., Tel.: 555-3000
- ・リスト音楽院 / Zeneakadémia VI. Liszt Ferenc tér 8., Tel.: 342-0179
- ・ペシュティ・ヴィガドー装飾の間 / Pesti Vigadó, Díszterem V. Vigadó tér 2.
- ・マーチャーシュ教会/Mátyás-templom I.Szentháromság tér 2.
- ・フェシュティチ宮殿/ Fesztetics Palota VIII. Pollack Mihály tér 3
- ・ナードルテレム/NÁDOR TEREM Ajtósi Dürer sor 39., **ブダペスト**, 1146 Tel.(1) 344 7072
- ・ブダペスト音楽センター/ BMC - Budapest Music Center Mátyás u. 8., **ブダペスト**, 1093 Tel: (1) 216 7894
- ・ハンガリー国営ラジオ大理石ホール/A Magyar Rádió Márvány terme Pollack Mihály tér 8., **ブダペスト**, 1088
- ・バルトーク記念館/ Bartók Emlékház 1025 Budapest, Csalán u. 29.
- ・聖イシュトヴァーン大聖堂/Szent István Bazilika 1051 Budapest, Szent István tér 1. Tel.: (1) 317-2859
- ・オーブダ集会場/ Óbudai Társaskör III. Kiskorona u. 7 TEL:335-8330
- ・イタリア文化会館/ Olasz Kultúrintézet (L'Istituto Italiano di Cultura) VIII. Bródy Sándor u. 8. TEL : 318-8144
- ・Belvárosi Plébánia 教会/ Belvárosi Plébánia Templom Budapest, Március 15. tér, 1056

オペラ・バレエ・オペレッタ・ダンス情報

※国立オペラ座は2019年1月(予定)まで改修工事の為、閉鎖。現在はエルケル劇場/芸術宮殿 (MÜPA) にて公演

【オペラ座国内公演ツアー】

歌劇『ラ・ボエーム』

3月2日 Dunajská Streda 市 Csaplár Benedek Városi Művelődési Központ

8日 Novi Sad 市 Serbian National Theater

22日 Oradea 市 Szigligeti Színház

25日 Satu Mare 市 Északi Színház

【オペラ座コンサート】

・プッチーニ・ガラ・ナイト/PUCCINI GALA NIGHT 指揮：シロー・イシュトヴァーン

4月2日 Zalaegerszeg 市 Ady Art Cinema 23日 Kaposvár 市 Rainbow (Szivárvány) Palace of Culture

24日 Salgótarján 市 Zenthe Ferenc Theatre

【オペラ座コンサート子供向けプログラム】

★ビッグ・プロジェクトの日 会場：エルケル劇場ベルナートブッフエ

入場無料 申し込み要 Registration: jegy@opera.hu (英語・ハンガリー語)

★オペラツアー『パパゲーノ』ヤングプログラム 会場：エルケル劇場ベルナートブッフエ

毎土・日曜日 15:00より(1時間40分プログラム) 1回 2000Ft/人

2019年3月9, 17, 31日、4月7, 28日、6月9日

★Sing-along Baby 会場：エルケル劇場ベルナートブッフエ

毎週木曜日 11:00 - 11:30 1人 500Ft/回

2019年3月3月7,14,21,28日、4月4,18,25日、5月16,23,30日、6月13,20,27日

★Weekend Sing Along Baby with Daddy

2019年3月23日、5月25日 毎週土曜日 9:30 - 10:00 会場：エルケル劇場ベルナートブッフエ 1人 500Ft/回

★『リングトー』0歳～3歳向け会場：エルケル劇場ベルナートブッフエ

2019年3月23日、5月25日 時間：毎月1回土曜日 9:30-10:00 価格：500Ft/人

★『楽器の魔法』4～7歳対象の楽器紹介コンサート会場：エルケル劇場 1階ベルナートブッフエ

2019年2月3日、4月14日、5月19日 毎曜日曜日 9:00-10:00 チケット料：4000Ft.(全公演共通)1200Ft(1公演)

★『Afternoon Jam』4～7歳対象 会場：エルケル劇場 1階ベルナートブッフエ

日曜日 15:00より(1時間プログラム) チケット料：4000Ft.(全公演共通) 1200Ft(1公演)

【オペラ】 ☆エルケル劇場 Budapest, II. János Pál pápa tér 30, 1087

コジ・ファン・トゥッテ/モーツァルト

3月	5	火	18:00
	8	金	18:00

ラ・ジョコンダ/ポンキエツリ

3月	6	水	18:00
	10	日	18:00

カルメン/ビゼー

3月	7	木	18:00
	9	土	18:00
	13	水	18:00
	17	日	18:00

椿姫/ビゼー

3月	30	土	19:00
	31	日	19:00
4月	3	水	19:00
	4	木	11:00
	6	土	11:00
	12	金	19:00

John the Valiant/Pongrác Kacsóh

3月	10	日	11:00
	16	土	11:00
	17	日	11:00
	30	土	11:00
	31	日	11:00

バーク・バーン/エルケル・フェレンツ

3月	14	木	19:00
	16	土	19:00
	21	木	19:00
	29	金	19:00
4月	2	火	19:00
	7	日	11:00

【バレエ】

☆エルケル劇場 Budapest, II. János Pál pápa tér 30, 1087

OMG バレエイブニング

Sylvia Pas de Deux-Theme & Variations-Études

Études に**森本亮介**さんが出演されます。



3月	22	金	19:00
	23	土	19:00
	24	日	11:00/19:00
	27	水	19:00
	28	木	19:00

【ミュージカル・オペレッタ】 ☆ブダペスト・オペレッタ劇場 Budapest, 6th district, Nagymező utca 17.

フリダ/ FRIDA/Dinyés Dániel-Duda Éva-Hegyi György

3月	4	月	19:30
	5	火	19:30

風と共に去りぬ/Gérard Presgurvic

3月	8	金	19:00
	9	土	15:00/19:00
	10	日	11:00/19:00

喜歌劇《青ひげ》/ オッフェンバック

3月	5	火	19:00
	6	水	17:00
	7	木	17:00
4月	9	火	19:00
	10	水	19:00
	11	木	18:00

青い鳥/ Darvas Benedek - Ádám Rita - Závada Péter - Maurice Maeterlinck

3月	8	金	15:00
	9	土	11:00
	10	日	15:00
	11	月	19:00
4月	12	金	15:00/19:00
	13	土	19:00
	14	日	15:00

シカゴ公爵夫人//Kálmán Imre

3月	29	金	19:00
	30	土	15:00 / 19:00
	31	日	15:00 / 19:00

レベッカ/Lévay Szilveszter-Michael Kunze

Mad, Mad Love

カールマン・イムレ・ホール			
3月	16	土	19:00
	17	日	19:00

猫の悪魔 / A Macskadémon / Bella Máté - Karafiáth Orsolya

カールマン・イムレ・ホール			
3月	5	火	19:00
	6	水	19:00
4月	5	金	19:00
	6	土	19:00

ミュージカル物語

3月	9	日	11:00
4月	13	土	11:00

リリ男爵夫人/ Huszka Jenő - Martos Ferenc

Raktár 劇場			
3月	5	火	19:30
	6	水	19:30
	7	木	19:30
4月	10	水	19:30
	11	木	19:30

アルジャーノンに花束を/ David Rogers - Charles Strouse

3月	20	水	19:30
	21	木	19:30
	22	金	19:30
4月	14	日	19:30
	15	月	19:30

Mike the Magnate/Albert Szirmai

3月	1	金	19:00
	2	土	19:00
	3	日	11:00 / 15:00
4月	19	金	15:00
	20	土	19:00
	21	日	15:00

貧乏人ジョニーとアールニカ姫/

Lázár Ervin - Závada Péter - Szirtes Edina Mókus

3月	1	金	15:00
	2	土	15:00
	4	月	11:00
4月	25	木	11:00
	26	金	11:00
	27	土	15:00
	28	日	11:00

奇跡の物語の樹 (5 - 8歳向け)

	Raktár 劇場		
3月	12	火	11:00
	13	水	11:00
	14	木	11:00
	15	金	11:00
	30	土	11:00
	31	日	11:00
4月	2	火	11:00
	3	水	11:00
	4	木	11:00

シュテファン王/Levente Szörényi - János Bródy

3月	12	火	19:00
	13	水	19:00
	14	木	15:00/19:00
	15	金	19:00
	16	土	15:00/19:00
	17	日	15:00/19:00
	4月	2	火
3		水	19:00
4		木	19:00
5		金	15:00/19:00
6		土	15:00/19:00

3月	20	水	19:00
	21	木	19:00
	22	金	15:00/19:00
4月	7	日	15:00/19:00

MAYA/Fényes Szabolcs

3月	23	土	15:00/19:00
	24	日	15:00/19:00
	25	月	17:00
	26	火	15:00/19:00
	27	水	19:00
4月	12	金	19:00
	13	土	15:00/19:00
	14	日	15:00/19:00

アメリカン・コメディ/Álaint Bársony - Attila Lőrinczy

3月	22	水	19:00
	23	木	19:00
	24	金	19:00

ドリアン・グレイ/Ács János-Várkonyi Mátyás

3月	27	水	19:00
	28	木	19:00

センメルヴァイス/Raymond J. Lustig - Matthew Doherty

3月	27	水	19:30
	28	木	19:30

喜歌劇「シカゴの公爵夫人」/カールマン

3月	29	金	19:00
	30	土	15:00/19:00
	31	日	15:00/19:00

来年も君と共に/

ベルナルド・シュラーレ&スターン・ダニエル

4月	7	日	19:30
	8	月	19:30
	9	火	19:30

おばあちゃんの冒険

4月28日(日) 11:00

【ダンス】

ハンガリーを拠点に活動されている鳥谷部歩美ホームページ

<https://ayumitoyabe.themedia.jp/>

★国立ダンス劇場 (Nemzeti táncszínház) <http://www.nemzetitanaszinhaz.hu>

○公演情報は随時掲載が更新されていますので、ご確認の上お出かけになられてください。

Facebook HP : <https://www.facebook.com/budapestdancetheatre>

ダンスカンパニーHP : <http://www.budapestdancetheatre.hu/>

<https://www.facebook.com/events/279768405480306/>



コルナイが綴る 20 世紀中欧の歴史証言

池田信夫「21世紀最初の10年ベスト経済書」第2位にランク
「週刊ダイヤモンド」2006年ベスト経済書第9位にランクイン

コルナイ・ヤーノシュ自伝

—思索する力を得てコルナイ・ヤーノシュ【著】 盛田常夫【訳】

◆好評発売中！ ◆定価 4935 円（税込）◆A 5 判／ISBN 4-535-55473-0 日本評論社



体制転換 の経済学

黄色の教科書シリーズで知られる専門学
部の定番テキスト。体制転換の理論と転
換直後の現状を分析。各大学で教科書と
して使用。

盛田常夫著

第一部 社会主義経済の失敗

社会主義崩壊をもたらした社会的退化への論理を構築。交換経済と再分配経済の
比較分析に新たな視点を提供。

第二部 ポスト社会主義経済

体制転換の過渡期の問題をすべて取り上げ、解決の道筋を示す。地域による体
制転換の違いを解明。

■ 新世社 新経済学ライブラリー20 定価2781円(税込)



なぜハンガリーは独創的な科学者を輩出したのか

20 世紀を創ったハンガリー人 マルクス・ジョルジュ【著】 盛田常夫【編訳】

■ 定価 3045 円（税込） A 5 判

■ ISBN 4-535-78331-4

異星人伝説

「週刊文春」(米原万里)、「週刊ダイヤモンド」(北村伸行—橋大学教授)で書評。

ハンガリーは 20 世紀の科学の発展に貢献した多くの頭脳を
輩出した。大きな足跡を残した科学者たちの評伝。

体制転換20年の歴史的・理論的総括の書

ポスト社会主義の政治経済学

体制転換20年のハンガリー：旧体制の変化と継続

新しい概念を駆使して、体制転換以後の中欧社会の状況を分析。

日本経済新聞(2010年3月21日)ほか、多数の書評。

旧来の定説を覆し、新たな知見を広める革新の書。

盛田 常夫著 日本評論社 定価3800円

